

【第2章 業務実績】

1 企画調整部門

(1) 企画調整担当

企画調整担当の主な業務は、各種調査研究評価委員会の開催、調査研究に係る企画及び連絡調整、試験検査に係る信頼性確保業務及び情報発信業務である。

ア 調査研究評価委員会等の運営

(ア) 内部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、内部評価委員会を開催した。

内部評価委員会は、当該年度に当研究所で実施の「全研究課題」について、委員である当研究所職員が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和5年度の開催概要は表のとおりである。

(イ) 外部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、外部評価委員会を開催した。

外部評価委員会は、内部評価委員会で評価された研究課題のうち、「特に重要な研究課題」について、委員である当研究所職員及び本庁関係課職員並びに外部研究機関の有識者が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和5年度の開催概要は表のとおりである。

(ウ) 倫理審査委員会

川崎市健康安全研究所倫理審査委員会設置要綱に基づき、倫理審査委員会を開催した。

倫理審査委員会は、当該年度に新たに計画された「人を対象とする生命科学・医学系研究」について、委員である当研究所職員及び外部の有識者が、倫理指針等に基づき倫理的観点及び科学的観点からその実施の適否に係る審査を行うもので、令和5年度の開催概要は表のとおりである。

表 令和5年度調査研究評価委員会等開催概要

年月日	委員会	課題数
R5.5.24	内部評価委員会(研究計画の評価)	28
R5.5.29		
R5.5.31		
R5.7.10	倫理審査委員会	5
R5.7.18	外部評価委員会(研究計画の評価)	9
R6.1.24	内部評価委員会(研究計画(計画変更2、次年度分課題1)の評価)	3
R6.2.6	内部評価委員会(研究結果の評価)	8
R6.2.10	倫理審査委員会	4
R6.2.14	内部評価委員会(研究結果18、研究計画(次年度分課題1)の評価)	19
R6.2.21		
R6.2.28	内部評価委員会(研究計画(追加課題1、次年度分課題3)の評価)	4
R6.3.18	外部評価委員会(研究結果の評価)	10

イ 食品衛生検査の信頼性確保業務

食品衛生検査の信頼性確保部門として、収去施設及び食品衛生検査施設に対し次の業務を行った。なお、不適とされたものについては適宜、改善指導を行った。

(ア) 内部点検

収去施設(全7区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課、保健医療政策部食品安全担当(食品専門監視担当)並びに食品衛生検査施設(健康安全研究所及び保健医療政策部中央卸売市場食品衛生検査所)に対し、内部点検を実施した。

内部点検では、標準作業書の作成状況や機械器具の管理等が適切に実施されているかの確認を行った。

(イ) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(ウ) 外部精度管理調査

毎年度、健康安全研究所及び中央卸売市場食品衛生検査所では、一般財団法人食品薬品安全センターが実施する外部精度管理調査に参加し、客観的な評価を受けている。

令和5年度は、食品添加物・残留農薬等の理化学検査、一般細菌数・大腸菌群等の微生物検査及び動物を用いる検査に係る調査に参加し、結果の確認を行った。

ウ 病原体等検査の信頼性確保業務

病原体等検査の信頼性確保部門として、病原体等検査施設(健康安全研究所)に対し次の業務を行った。なお、食品衛生検査の信頼性確保業務と同様に、不適とされたものは適宜、改善指導を行った。

(ア) 内部監査

内部監査では、標準作業書の作成状況や試験検査に係る書類の作成、機械器具の管理等が適切に行われているかの確認を行った。

(イ) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(ウ) 外部精度管理調査

令和5年度は、厚生労働省が実施する新型コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の解読・解析、麻しん・風しんウイルスの核酸検出検査、厚生労働科学研究の研究班の協力依頼に基づくレジオネラ属菌検査、結核菌VNTR解析及び腸管出血性大腸菌のMLVA法の外部精度管理調査に参加し、結果の確認を行った。

エ 情報発信業務

主にホームページを用いて健康安全研究所の取組内容の情報発信を行っている。ホームページを用いた定期的な情報発信業務としては、「検査情報」を作成・掲載しており、理化学部門及び微生物部門が実施する日常の試験検査実績を、市民にとってわかりやすい体裁に配慮し取りまとめている。令和5年度は理化学検査情報を4回、微生物検査情報を4回作成し公開した。

(2) 感染症情報センター担当

感染症情報センターの役割は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、「感染症法」という。)」に基づく感染症発生動向調査事業実施要綱に規定されており、「各都道府県等域における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集、分析し、都道府県等の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとして、各都道府県等域内に 1 か所、原則として地方衛生研究所の中に設置する。」と明記されている。

川崎市では、平成 25 年 2 月まで、健康福祉局健康安全室(現在の健康福祉局保健医療政策部)に感染症情報センターを設置し、「川崎市感染症発生動向調査事業実施要領」に基づき感染症発生動向調査事業を実施してきたが、平成 25 年 3 月、感染症情報センター機能を健康安全研究所に移管し、従来から実施してきた業務に加えて、感染症情報発信システムの運用や疫学研究等を行い、機能強化を図っている。また、市内における健康危機事象発生時の初動体制及びネットワークを構築するため、FETP* - Kawasakiプランに基づく取組を行っている。

*FETP:Field Epidemiology Training Program

<感染症発生動向調査事業>

感染症発生動向調査事業は、感染症情報センターの主たる業務であり、前述の感染症発生動向調査事業実施要綱により規定されている。

本事業では、医療機関から届出等される対象疾患について、国、県、指定都市の感染症情報センター等を結んで、感染症発生動向調査情報ネットワークを形成し、全国的な規模で感染症の流行状況の把握、患者発生情報及び検査情報の収集、解析、還元を行っている。市内では、健康福祉局保健医療政策部及び各区役所地域みまもり支援センター等と連携しながら、患者情報等の収集・解析を行い、関係機関に対して感染症情報を迅速に発信するとともに、市民に対しては広報紙「今、何の病気が流行しているか!」やメールマガジン等を毎週定期的に発行している。

ア 全数把握疾患の発生状況(表 1~3)

一類感染症の届出はなかった。

二類感染症では、結核 225 件の届出があり、

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MERS)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。

三類感染症では、腸管出血性大腸菌感染症 74 件の届出があり、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス及びバラチフスの届出はなかった。腸管出血性大腸菌感染症は前年と比べて届出数が増加したものの、集団発生事例はなかった。

四類感染症では、E型肝炎 16 件、デング熱 5 件、日本紅斑熱 1 件、レジオネラ症 12 件の届出があった。日本紅斑熱については、平成 29 年以来 6 年ぶりに届出があり、PCR 法により血液から病原体遺伝子が検出された。なお、推定感染地域は市外であった。

五類感染症では、アメーバ赤痢 8 件、ウイルス性肝炎 8 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 29 件、急性弛緩性麻痺 3 件、急性脳炎 15 件、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 15 件、後天性免疫不全症候群 10 件、ジアルジア症 1 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 9 件、侵襲性肺炎球菌感染症 24 件、水痘(入院例に限る。)8 件、梅毒 127 件、破傷風 3 件、百日咳 21 件、麻しん 1 件の届出があった。梅毒については、平成 11 年の感染症法施行以降、最多の届出数となった。性別では男性が 91 件、女性が 36 件であり、男性は 20 歳代から 50 歳代、女性は 20 歳代の報告が多かった。病期別報告数については、男性は早期顕症梅毒 I 期が 40 件と最も多く、次いで早期顕症梅毒 II 期が 29 件であった。女性は早期顕症梅毒 II 期が 18 件と最も多く、次いで無症候が 10 件であった。なお、先天梅毒の報告はなかった。麻しんについては、血清 IgM 抗体が検出され、検査診断例として届出があった。インドネシアへの海外渡航歴があり、ワクチン接種歴は 1 回であった。なお、当所における PCR 法による検査結果は陽性であり、遺伝子型は D8 であった。

また、新型コロナウイルス感染症は、新型インフルエンザ等感染症として 36,013 件の届出があった。なお、令和 5 年 5 月 8 日診断分からは、五類感染症の定点把握疾患に変更となった。

表1 届出数（一～三類感染症、指定感染症及び新型インフルエンザ等感染症患者等届出数）

令和5年

	総数	一類感染症	二類感染症			三類感染症				指定感染症 (新型コロナウイルス感染症)	新型インフルエンザ等感染症 (新型コロナウイルス感染症)
		エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱	急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS、MERS、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス		
令和3年	36,420	-	-	227	-	-	47	-	-	3,462	32,684
令和4年	385,529	-	-	204	-	-	41	-	-		385,284
令和5年	36,312	-	-	225	-	-	74	-	-		36,013
川崎	8,809	-	-	67	-	-	21	-	-	3,462	8,721
幸	3,755	-	-	19	-	-	19	-	-		3,717
中原	6,681	-	-	44	-	-	12	-	-		6,625
高津	4,375	-	-	26	-	-	-	-	-		4,349
宮前	4,782	-	-	34	-	-	11	-	-		4,737
多摩	4,179	-	-	15	-	-	4	-	-		4,160
麻生	3,731	-	-	20	-	-	7	-	-		3,704

※SARS：重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）

※MERS：中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）

※新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日から指定感染症、令和3年2月13日から新型インフルエンザ等感染症となり、令和5年5月8日からは五類感染症の定点把握疾患となった。

表2 届出数（四類感染症患者等届出数）

令和5年

	総数	四類感染症			
		E型肝炎	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症
総数	34	16	5	1	12
川崎	5	1	2	-	2
幸	3	-	-	-	3
中原	13	8	2	1	2
高津	5	2	-	-	3
宮前	4	3	-	-	1
多摩	1	1	-	-	-
麻生	3	1	1	-	1

※その他の四類感染症の届出はなかった。

表3 届出数（五類感染症（全数把握疾患）患者等届出数）

令和5年

	総数	五類感染症							
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
総数	284	8	8	29	3	15	2	15	10
川崎幸	103	3	3	3	-	-	-	4	7
中原	12	2	-	-	-	-	-	-	-
高津	40	-	2	2	2	1	2	7	2
宮前	37	2	2	1	-	7	-	-	-
多摩	37	-	-	9	-	6	-	1	1
麻生	25	1	-	10	1	1	-	-	-
麻生	30	-	1	4	-	-	-	3	-
	総数	五類感染症							
		ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例に限る。)	梅毒	破傷風	百日咳	麻しん
総数		1	9	24	8	127	3	21	1
川崎幸		1	4	6	1	70	1	-	-
中原		-	1	1	-	4	-	4	-
高津		-	3	5	3	10	-	1	-
宮前		-	-	1	2	11	-	11	-
多摩		-	1	6	-	10	2	1	-
麻生		-	-	3	2	7	-	-	-
麻生		-	-	2	-	15	-	4	1

※その他の五類感染症の届出はなかった。

イ 定点把握疾患の発生状況（表4）

新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、令和4年までは多くの疾患で報告数が減少していたが、令和5年はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナの報告数が過去5年平均を上回った。なお、令和2年から令和4年までは新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、他疾患の報告数が著しく減少したため、過去5年平均との比較については、平成28年から令和元年までの平均と比較を行った。

インフルエンザについては、第4週(1月第5週)に定点当たり患者報告数が11.30人となり、流行発生注意報基準値(10.00人)を超え、第10週(3月第2週)には定点当たり17.05人と、流行のピークとなった。その後報告数は減少したものの増減を繰り返し、2023/2024シーズンは、第37週(9月第3週)に13.31人となり、流行発生注意報基準値を超えた。なお、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて1.39倍であった。

新型コロナウイルス感染症については、定点把握疾患となった第19週(5月第2週)以降定点当たり患者報告数が増加し、第36週(9月第2週)に24.95人と流行のピークとなった後、急激に減少したが、第46週(11月第3週)以降再び増加した。

咽頭結膜熱については、9月上旬以降患者報告数が増加し、第43週(10月第5週)に定点当たり3.16人となり、流行発生警報基準値(3.00人)を超えた。第46週(11月第3週)には5.81人と、過去10年間で最多となった。なお、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて4.38倍であった。

ヘルパンギーナについては、5月中旬以降患者報告数が増加し、第24週(6月第3週)に定点当たり6.95人となり、流行発生警報基準値(6.00人)を超えた。その後第27週(7月第2週)に8.14人と、流行のピークとなった後、急激に減少した。なお、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて1.36倍であった。

表4 五類感染症（定点把握疾患）の発生状況

【小児科定点、内科定点、眼科定点対象疾患】

令和5年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	69,355	3,204	4,081	4,218	1,587	2,575	5,953	5,147	6,990	9,268	8,200	8,868	9,264
水痘	331	12	6	5	19	21	32	14	25	17	24	48	108
流行性耳下腺炎	105	9	3	3	8	16	16	9	11	5	6	12	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4,566	44	68	76	106	229	409	306	333	395	627	1,105	868
感染性胃腸炎	9,212	1,165	1,058	824	598	769	1,076	549	499	451	457	719	1,047
手足口病	1,139	-	2	10	2	18	112	95	115	323	251	143	68
伝染性紅斑	25	-	2	2	1	-	1	2	4	1	3	4	5
突発性発しん	459	31	25	35	46	57	66	29	31	42	32	43	22
ヘルパンギーナ	2,248	6	2	6	12	118	1,045	756	127	103	56	14	3
咽頭結膜熱	2,531	8	19	18	33	67	120	112	140	265	401	901	447
RSウイルス感染症	891	15	1	15	14	78	363	307	68	21	-	7	2
インフルエンザ	30,708	1,910	2,888	3,216	735	468	582	210	560	3,392	5,575	5,315	5,857
新型コロナウイルス感染症	16,534					703	2,077	2,708	4,985	4,152	677	463	769
流行性角結膜炎	606	4	7	8	13	31	54	50	92	101	91	94	61
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症は五類感染症の定点把握疾患となった令和5年5月8日以降診断分を集計

【基幹定点、性感染症定点対象疾患】

令和5年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,035	84	60	86	79	85	79	59	75	79	134	84	131
細菌性髄膜炎	6	-	1	1	-	-	1	-	-	1	1	1	-
無菌性髄膜炎	17	1	-	2	2	1	4	2	1	-	3	-	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院サーベイランス	60	4	2	1	1	1	1	-	2	6	8	9	25
新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス	101									9	44	16	32
淋菌感染症	117	10	4	14	15	12	8	3	13	11	12	9	6
性器クラミジア感染症	428	44	28	44	40	39	41	32	32	32	37	24	35
性器ヘルペスウイルス感染症	137	13	8	10	7	15	6	10	12	9	17	13	17
尖圭コンジローマ	126	8	11	11	13	13	14	9	11	10	9	10	7
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	39	4	6	3	1	4	4	3	2	1	3	2	6
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症の入院サーベイランスは調査が開始された令和5年9月25日以降診断分を集計

ウ 集団施設における感染症発生情報（表5）

学校保健安全法に規定される対象疾患により出席停止となった患者数について、小学校及び中学校からの報告数を集計することにより、集団施設における感染症発生状況を解析し、関係機関、市民等へ発信している。なお、保育園については、学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報を集計している。

なお、令和2年から令和4年までは新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、他疾患の報告数が著しく減少したため、令和5年の集計における過去5年平均との比較については、平成28年から令和元年までの

平均と比較を行った。

インフルエンザ様疾患については、年間では過去5年平均と比較して1.42倍であったが、特に10月は53.11倍と報告数が大幅に増加した。

新型コロナウイルス感染症については、年間では13,038件の報告があり、昨年と比較して0.25倍であった。なお、1月～5月においては、小学校及び中学校のその他に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者及びその他関連による出席停止が含まれており、同時期のその他全体の98.7%を占めた。

表5 集団施設における感染症発生情報

令和5年

		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	総数	111,002	17,569	18,025	11,481	7,383	3,584	4,081	3,094	2,160	11,294	12,930	9,828	9,573
	保育園	18,973	1,841	1,507	998	517	902	1,754	1,563	1,156	2,014	2,410	1,933	2,378
	小学校	73,780	12,468	13,754	9,267	6,315	2,218	1,625	1,014	682	6,433	8,197	6,169	5,638
	中学校	18,249	3,260	2,764	1,216	551	464	702	517	322	2,847	2,323	1,726	1,557
百日咳	総数	19	-	-	2	-	-	3	3	-	-	-	10	1
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	8	-	-	1	-	-	3	3	-	-	-	1	-
	中学校	11	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	1
インフルエンザ様疾患	総数	44,067	3,193	4,689	4,189	960	1,187	909	285	226	4,691	10,184	6,890	6,664
	保育園	6,658	674	1,058	748	161	153	66	30	81	618	1,279	673	1,117
	小学校	29,136	1,917	3,085	2,853	744	872	683	178	115	2,976	6,891	4,673	4,149
	中学校	8,273	602	546	588	55	162	160	77	30	1,097	2,014	1,544	1,398
新型コロナウイルス感染症	総数	13,038	2,732	734	100	241	436	959	1,026	1,044	4,848	541	156	221
	保育園	1,841	687	87	20	50	59	85	145	280	315	49	15	49
	小学校	6,821	1,436	458	56	134	177	373	470	478	2,824	254	73	88
	中学校	4,376	609	189	24	57	200	501	411	286	1,709	238	68	84
麻疹	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	総数	236	14	9	9	15	30	40	27	4	23	20	31	14
	保育園	57	3	2	2	2	4	9	8	3	6	4	9	5
	小学校	171	10	7	7	11	26	29	19	1	17	15	20	9
	中学校	8	1	-	-	2	-	2	-	-	-	1	2	-
水痘	総数	880	33	27	27	37	115	109	33	21	35	60	126	257
	保育園	162	5	8	11	3	18	13	5	14	19	24	13	29
	小学校	686	24	16	15	32	96	94	27	5	13	32	109	223
	中学校	32	4	3	1	2	1	2	1	2	3	4	4	5
風しん	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	総数	1,072	15	21	11	25	20	36	41	118	252	226	172	135
	保育園	591	10	17	5	9	7	13	23	95	115	121	91	85
	小学校	440	4	4	6	12	12	21	17	21	130	95	69	49
	中学校	41	1	-	-	4	1	2	1	2	7	10	12	1
急性出血性結膜炎	総数	17	-	1	-	-	2	-	-	4	3	3	1	3
	保育園	10	-	1	-	-	1	-	-	3	2	2	1	-
	小学校	6	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	3
	中学校	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
咽頭結膜熱	総数	1,378	5	7	12	15	22	28	23	38	172	274	419	363
	保育園	889	3	7	11	15	20	19	17	32	128	171	259	207
	小学校	471	2	-	1	-	2	9	6	5	43	101	154	148
	中学校	18	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	6	8
その他*	総数	50,295	11,577	12,537	7,131	6,090	1,772	1,997	1,656	705	1,270	1,622	2,023	1,915
	保育園	8,765	459	327	201	277	640	1,549	1,335	648	811	760	872	886
	小学校	36,041	9,075	10,184	6,328	5,382	1,032	413	294	56	430	808	1,070	969
	中学校	5,489	2,043	2,026	602	431	100	35	27	1	29	54	81	60

※保育園は学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報（令和6年9月11日時点）

* 令和5年5月までの小学校及び中学校のその他は、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者及びその他関連による出席停止を含む。

2 理化学部門

(1) 食品担当

食品衛生法及び食品表示法に基づく食品中の食品添加物検査、成分規格検査、遺伝子組換え食品検査、特定原材料検査、自然毒及び化学物質検査並びに苦情食品検査等を担当している。令和5年度は、保健所、保健所支所、中央卸売市場食品衛生検査所及び港湾局から搬入された食品等123検体、339項目について検査を実施した。(表1)

なお、苦情食品検査の依頼はなかった。

ア 食品添加物検査

食品添加物の使用基準及び表示基準に関する項目について、延べ270項目(保存料、着色料、酸化防止剤等)の検査を実施した。(表2)

イ 遺伝子組換え食品検査

米加工品、ばれいしょ加工品、魚介類、魚介類加工品及び菓子 計21検体について検査を実施した。結果は全て陰性であった。(表3)

ウ 特定原材料検査

特定原材料の使用表示のない食品について、乳を対象に2検体及び卵を対象に8検体の検査を実施した。なお、乳を対象とした2検体は卵も対象としている。スクリーニング検査の結果は、全ての検体で不検出又は基準値である10 μ g/g未満であった。(表4)

エ 自然毒及び化学物質検査

東扇島東公園人工海浜に自生する二枚貝及び市内流通食品、計8検体について貝毒検査を実施した。このうち1検体で下痢性貝毒が検出されたが、規制値以下であった。また、フグ毒検査を1検体及びヒスタミン検査を5検体実施した。(表5)

検査精度確保のため、(一財)食品薬品安全センターが実施する「食品衛生外部精度管理調査」に参加し食品添加物(着色料、ソルビン酸)及び麻痺性貝毒の検査、「遺伝子組換え食品検査の外部精度管理調査」に参加し安全性未審査の遺伝子組換えコメの検査、「食品表示に関する外部精度管理調査」に参加し特定原材料(卵)の検査、(株)森永生科学研究所主催の「第8回食物アレルギー物質検査精度管理サーベイ」に参加し特定原材料(卵及び牛乳)の検査、並びに(一社)日本バイオテクノロジー認証機構主催の「JBC0技能試験2023」に参加しヒスタミンの検査を実施した。

また、地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック精度管理事業で実施された模擬訓練に参加した。

さらに、関係機関の調査研究に係る検査に関して、(一財)食品薬品安全センターからの依頼による「特定原材料検査における外部精度管理調査研究」(検査項目:卵)及び埼玉県衛生研究所からの依頼による「食品添加物試験法の妥当性評価法に関する研究」(検査項目:サイクラミン酸)について協力を行った。

表1 食品化学検査内訳

検査内容	項目数
食品添加物検査	270
遺伝子組換え食品検査	21
特定原材料検査	10
自然毒・化学物質検査	22
その他の検査	16
総計	339

表2 食品添加物検査内訳

検査内容		項目数
保存料	安息香酸	25
	ソルビン酸	36
	パラオキシ安息香酸エステル類	25
着色料	許可酸性タール色素	24
発色剤	亜硝酸根	9
甘味料	サッカリン	12
	アセスルファムカリウム	12
漂白剤	亜硫酸塩	30
酸化防止剤	ブチルヒドロキシアニソール	3
	ジブチルヒドロキシトルエン	3
品質保持剤	プロピレングリコール	13
防かび剤	イマザリル	8
	オルトフェニルフェノール	7
	ジフェニル	7
	チアベンダゾール	8
指定外添加物	サイクラミン酸(甘味料)	27
	TBHQ(酸化防止剤)	8
	アゾルビン(着色料)	6
	スーダンⅠ(着色料)	1
	スーダンⅡ(着色料)	1
	スーダンⅢ(着色料)	1
	スーダンⅣ(着色料)	1
	パラレッド(着色料)	1
	キノリンイエロー(着色料)	2
総計		270

表3 遺伝子組換え食品検査結果

品目	検体数	検査対象	安全性	試験方法	結果	
					陰性	陽性
米加工品 (穀類及びその加工品)	5	遺伝子組換えコメ (63Bt、NNBt、CpTI)	未審査	定性PCR	陰性	5
菓子	2				陰性	2
ばれいしょ加工品 (野菜果実及びその加工品)	5	遺伝子組換えバレイショ (F10、J3)	未審査	定性PCR	陰性	5
菓子	5				陰性	5
魚介類	1	遺伝子組換えサケ (AquAdvantage)	未審査	定性PCR	陰性	1
魚介類加工品 (びん詰・缶詰食品)	3				陰性	3

表4 特定原材料スクリーニング検査結果

検査対象	品目	検体数	試験方法	結果
乳	パン	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 牛乳	10 μg/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ牛乳	10 μg/g未満
	菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 牛乳	10 μg/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ牛乳	不検出
卵	パン	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	10 μg/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	10 μg/g未満
	菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	10 μg/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	パン	3	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	菓子	3	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出

試験方法:1 検体につき2種類のキットを用いて検査を実施し、いずれか1種でも10μg/g以上検出された場合、スクリーニング検査陽性となる。

表5 自然毒及び化学物質検査結果

品目	検体数	自然毒分類	検査項目	結果	
アサリ	6	貝毒	麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	6
			下痢性貝毒	不検出	6
	1		麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	1
			下痢性貝毒	0.16 mgOA 当量/kg以下	1
ハマグリ	1		麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	1
			下痢性貝毒	不検出	1
フグ加工品	1	フグ毒	フグ毒	5 MU/g 以下	1
魚介類加工品	5	化学物質	ヒスタミン	不検出	5

下痢性貝毒の規制値は可食部当たり0.16mgOA当量/kg、麻痺性貝毒の規制値は可食部当たり4MU/g

(2) 水質・環境担当

「水道法」に基づく貯水槽水等の水質検査、「災害時における飲料水及び生活用水の供給源としての井戸及び受水槽の有効活用に関する要綱」に基づく災害用井戸水検査、「神奈川県水浴場等に関する条例」に基づくプール水検査、「川崎市公衆浴場法施行条例」及び「川崎市旅館業法施行条例」に基づく浴槽水検査、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づく家庭用品検査、「食品衛生法」に基づく食品の成分規格等検査のほか、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき健康食品等に含まれる医薬品成分（無承認無許可医薬品）検査等を担当している。

令和5年度は保健所及び保健所支所から搬入された検体について検査を実施した。

また、厚生労働省が実施する水道水質検査精度管理のための統一試料調査（硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、ホルムアルデヒド）、神奈川県が実施する外部精度管理調査（セレン及びその化合物、クロロホルム、プロモジクロロメタン）に参加し、信頼性確保に係る検査を実施した。

ア 飲料水検査

令和5年度に検査を実施した飲料水は92検体で、検査検体の内訳としては、井戸水（災害用選定の生活用水井戸）83件、貯水槽水3件、小規模水道水3件、専用水道水3件だった。（表1）

イ プール水、浴槽水等検査

市内プール水83検体、浴槽水154検体、計237検体について検査を実施した。（表2）

ウ 家庭用品検査

市販の家庭用品118検体（1検体で複数項目を検査する場合もあり、試買件数としては98件）について13項目の有害物質等の検査を実施したところ、全て基準に適合していた。（表3）

エ 清涼飲料水の規格基準検査

清涼飲料水（ジュース、ミネラルウォーター等）5検体、粉末清涼飲料1検体について5項目〔混濁、沈殿物又は固形の異物、ヒ素、鉛、

スズ（金属製容器包装入りのものに限る）〕の規格検査を実施したところ、全て基準に適合していた。

オ 豆類の規格基準検査

ベビーライマ豆1検体についてシアン化合物の規格検査を実施したところ、基準に適合していた。

カ 器具容器包装の規格基準検査

市内製造の器具容器包装1検体について重金属及び過マンガン酸カリウム消費量の規格検査を実施したところ、基準に適合していた。

キ 魚介類の環境汚染物質検査

多摩川で採取したアユ3検体について金属類等の環境汚染物質検査を実施した。（表4）

ク 医薬品成分検査

市販の健康食品16検体及びローション類（外用）4検体について、医薬品成分14項目の検査を実施した。（表5）

表1 飲料水検査結果

種類	災害用井戸水 (生活用水)※	貯水槽水	小規模水道水	専用水道水	その他	計	
検体数	83 (85)	3 (3)	3 (2)	3 (3)	0 (2)	92 (95)	
不適合件数	33 (23)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (23)	
不 適 合 項 目 件 数	亜硝酸態窒素	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)
	硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	鉄及びその化合物	28 (16)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (16)
	塩化物イオン	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
	pH値	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	味	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	臭気	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
	色度	16 (13)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (13)
	濁度	12 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (8)
	塩素酸	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※災害用井戸水に対して水質基準値は設定されていないため、水道法に基づく水道水質基準をあてはめて評価した。

():前年度

表2 プール水、浴槽水検査

種類	検査件数	検査項目
プール水	83 (54)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量
浴槽水	154 (145)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量、 有機物(全有機炭素(TOC)の量)
計	237 (199)	

():前年度

表3 家庭用品試買試験検査結果

検査項目	対象家庭用品	検体数	違反数
ホルムアルデヒド	繊維製品、つけまつげ用接着剤等	80	0
アゾ化合物	繊維製品	6	0
塩化水素、硫酸	住宅用の洗剤	1	0
水酸化カリウム、水酸化ナトリウム	家庭用の洗剤	1	0
容器試験	住宅用・家庭用の洗剤	2	0
有機水銀化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	6	0
トリフェニル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	6	0
トリブチル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	6	0
ジベンゾ[a, h]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]ピレン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
テトラクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
トリクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
総 数		118	0

表4 多摩川で採取した魚介類の検査結果

項目	1	2	3	定量下限値
総水銀 (ppm)	0.01	0.01	0.01	0.01
銅 (μg/g)	0.4	0.5	0.5	0.2
鉛 (μg/g)	不検出	不検出	不検出	0.1
カドミウム (μg/g)	不検出	不検出	不検出	0.01
マンガン (μg/g)	2.1	2.3	1.9	0.1
クロム (μg/g)	不検出	不検出	不検出	0.1
亜鉛 (μg/g)	13	14	13	0.5
ヒ素 (μg/g)	0.21	0.19	0.17	0.01
トリブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
トリフェニルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
ジブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1

表5 健康食品中医薬品成分検査結果

検査項目		検体数	検出	不検出
痩身成分	フェノールフタレイン	7	0	7
	フェンフルラミン			
	シブトラミン			
	マジンドール			
	クロルプロバミド			
	トルブタミド			
	オリストット			
強壮成分	シルデナフィル	9	0	9
	タダラフィル			12 [※]
	バルデナフィル			9
	クロロプレタダラフィル			
	グリペンクラミド			
	ヨヒンビン			
局所麻酔成分	リドカイン	4	0	4

※タダラフィルについて、形状がカプセルの場合は内容物に加えカプセル皮膜の検査(3件)を実施した。

(3) 残留農薬・放射能検査担当

残留農薬・放射能検査担当では、食品衛生法に基づき、市内産農産物を含めた市内流通食品の残留農薬検査、残留動物用医薬品検査及び食品・水道水等の放射性物質検査を実施した。

精度管理については、一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査に参加し、重金属検査(カドミウム)、残留農薬検査(I:個別試験、II:一斉試験)及び残留動物用医薬品検査(定量)を実施した。

ア 残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所から依頼のあった食品、総数 42 検体・延べ 1822 項目について残留農薬検査を実施した。

(7) 国内産農産物の残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の 30 検体・計 1,499 項目について検査を実施した(表 1-1、1-2、1-3)。

検査した農産物のうち、福島県産きゅうり1

検体からアクリナトリン 0.018mg/kg(基準値 0.3mg/kg)、茨城県産黄苜苜白菜 1 検体からボスカリド 0.012mg/kg(基準値 40mg/kg)が検出された。

(4) 輸入農産物の残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の 5 検体・計 250 項目について検査を実施した(表 2)。エクアドル産バナナ 1 検体からビフェントリン 0.011mg/kg(基準値 0.1mg/kg)が検出された。

(ウ) 玄米中のカドミウム検査

保健所依頼の長野県産玄米 1 検体について検査を実施したところ、0.04 mg/kg 未満(基準値 0.4mg/kg)という結果であった。

(イ) 輸入畜産物の残留農薬検査

保健所依頼の 6 検体・計 72 項目について検査を実施した(表 3)ところ、検出が認められた検体は無かった。

表1-1 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん	なす	ブロッコリー			きゅうり		トマト		チンゲン菜
			千葉県	高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
検出項目	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
検査依頼項目	1 エチオン	○				○	○	○	○	
	2 エトプロホス	○				○	○	○	○	
	3 カズサホス	○				○	○	○	○	
	4 キナルホス	○				○	○	○	○	
	5 クロルピリホス	○				○	○	○	○	
	6 クロルピリホスメチル	○				○	○	○	○	
	7 クロルフェンビンホス	○				○	○	○	○	
	8 シアノホス	○				○	○	○	○	
	9 テルブホス	○				○	○	○	○	
	10 トルクロホスメチル	○				○	○	○	○	
	11 パラチオン(パラチオンエチル)	○				○	○	○	○	
	12 パラチオンメチル	○				○	○	○	○	
	13 ビラクロホス	○				○	○	○	○	
	14 ビリミホスメチル	○				○	○	○	○	
	15 フェナミホス	○				○	○	○	○	
	16 フェニトロチオン(MEP)	○				○	○	○	○	
	17 ブタミホス	○				○	○	○	○	
	18 プロチオホス	○				○	○	○	○	
	19 ホスチアゼート	○				○	○	○	○	
	20 マラチオン(マラソン)	○				○	○	○	○	
	21 メチダチオン	○				○	○	○	○	
	22 ジメトエート	○				○	○	○	○	
	23 アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 アトラジン	○				○	○	○	○	

○:不検出

表1-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん	なす	ブロッコリー		きゅうり		トマト		チンゲン菜
			高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	
生産地区	千葉県	高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	山形県	静岡県
25 アラクロール	○				○		○	○	
26 クレソキシムメチル	○				○	○			
27 ジクロラン	○				○	○	○	○	
28 トリアレート	○				○	○	○	○	
29 ビフェントリン	○				○	○	○	○	
30 フェンバレレート	○				○	○			
31 フェンプロバトリン	○				○	○	○	○	
32 フサライド	○				○	○			
33 フルトラニル	○				○	○	○	○	
34 プロモプロピレート	○				○	○	○	○	
35 ミクロブタニル	○				○	○	○	○	
36 レナシル	○				○	○	○	○	
37 ジフェノコナゾール	○				○	○	○	○	
38 シルフフェナミド	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39 アクリナトリン	○				0.018(0.3)	○			
40 ジメチピン	○				○	○			
41 フルシトリネート	○				○	○			
42 EPN	○						○	○	
43 クロロフェナピル	○					○	○	○	
44 アジンホスメチル	○	○	○	○	○				○
45 ジメチルピンホス	○								
46 ダイアジノン	○					○	○		
47 テトラクロロピピンホス	○								
48 ホレート	○					○			
49 クロロプロファム	○								
50 シアナジン	○								
51 シメコナゾール		○	○		○	○	○	○	○
52 シプロジニル		○	○	○	○				
53 クロフェンテジン		○	○	○	○				
54 アニロホス		○	○	○	○				
55 カルバリル		○	○	○	○				○
56 カルプロパミド		○		○	○				
57 テブフェンジド		○	○	○	○				○
58 テフルベンズロン		○	○	○	○				○
59 フェノプロカルブ		○	○	○	○				○
60 イミダクロプリド		○	○						○
61 インダノファン		○		○	○				
62 エポキシコナゾール		○							○
63 オキサジクロメホソ		○		○	○				
64 クロキントセットメキシル		○	○	○	○				
65 クロチアニジン		○	○						
66 シアゾファミド		○	○	○	○				○
67 ジメトモルフ		○	○	○	○				○
68 チアメキサム		○	○						○
69 トリフルムロン		○	○	○	○				○
70 ノバルロン		○	○	○	○				○
71 ビラクロストロビン		○	○	○	○				
72 ビリミカーブ		○	○	○	○				○
73 フェンアミドン		○	○						
74 フェンピロキシメート		○	○						

検査依頼項目

○:不検出

表1-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん	なす		ブロッコリー		きゅうり		トマト		チンゲン菜
		千葉県	高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	山形県	
75	フルフェノクスロン		○	○	○	○				○
76	フルリドン		○		○	○				
77	ヘキシチアゾクス		○	○	○	○				
78	ベンゾフェナップ		○	○	○	○				
79	メキシフェノジド		○	○	○	○				○
80	モノニユロン		○		○	○				○
81	ラクトフェン		○	○	○	○				○
82	フェノキシカルブ		○	○	○	○				○
83	インドキサカルブ		○	○	○	○				○
84	オキサミル		○	○	○	○				○
85	ルフェスロン		○	○	○	○				○
86	クロマフェノジド		○	○	○	○				○
87	クロルフルアズロン		○	○						○
88	イマザリル		○	○						○
89	イプロバリカルブ		○	○	○	○				○
90	オキシカルボキシ		○	○						
91	クロリダゾン		○	○						○
92	ジウロン		○	○	○	○				○
93	ボスカリド		○	○	○	○				○
94	メタベンズチアズロン		○	○	○	○				○
95	チアベンダゾール		○	○	○	○				○
96	チアクロプリド		○	○						
97	チオジカルブ及びメソミル		○	○						
98	ピリフタリド			○	○	○				
99	クロメプロップ			○	○	○				○
100	ブタフェナシル			○	○	○				○
101	ベンダイオカルブ			○	○	○				○
102	ジメチリモール			○						○
103	ナプロアニリド			○						○
104	フラチオカルブ			○						○
105	フラメピル				○	○				○
106	オリザリン				○	○				○
107	フェリムゾン				○	○				○
108	フェンメディファム				○	○				○
109	ヘキサフルムロン				○	○				○
110	プロパキザホップ				○	○				○
111	クロロクスロン				○	○				
112	テプチウロン				○	○				
113	クミルロン				○	○				
114	ジフルベンズロン									○
115	ペンシクロン									○
116	シクロエート									○
117	ダイムロン									○
118	トリチコナゾール									○
119	フェントエート						○		○	○
120	ホサロン						○	○	○	○
121	エンドスルファン						○	○	○	○
122	フェナリモル						○	○	○	○
123	ブプロフェジン						○	○	○	○
124	ピリダベン						○	○	○	○
125	ペンディメタリン						○		○	○

検査依頼項目

○:不検出

表1-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん	なす	ブロッコリー		きゅうり		トマト		チンゲン菜
			高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	
生産地区	千葉県	高知県	愛知県	埼玉県	福島県	群馬県	茨城県	山形県	静岡県
126 ジェトフェンカルブ					○	○			
127 イソプロチオラン							○	○	
128 カフェンストール							○	○	
129 フェンスルホチオン							○	○	
130 アザコナゾール							○	○	
131 キノグラミン(ACN)							○	○	
132 プロピコナゾール							○	○	
133 ビリダフェンチオン									
134 プロフェノホス									
135 フィプロニル									
136 シフルトリン									
137 フルバリネート									
138 ピペロホス									
139 シハロホップブチル									
140 ピラゾホス									
141 エトリムホス									
142 ベンフルラリン									
143 サリチオン									
144 ジクロフェンチオン									
145 フルキンコナゾール									
146 ジチオビル									
147 アザメチホス									
148 スピノサド									
149 ピラゾリネート									
150 エディフェンホス									
151 ビフェノックス									

○:不検出

表1-2 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ピーマン		キャベツ			さつまいも	さつまいも (紅あずま)	かぼちゃ	(男しゃく) じゃがいも	
	茨城県	福島県	群馬県	岩手県	神奈川県	千葉県	茨城県	神奈川県	北海道	
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
検出項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 エチオン	○	○	○	○	○			○		
2 エトプロホス	○	○	○	○	○			○		
3 カズサホス	○	○	○	○	○			○		
4 キナルホス	○	○	○	○	○			○		
5 クロルピリホス	○	○	○	○	○			○		
6 クロルピリホスメチル	○	○	○	○	○			○		
7 クロルフェンビンホス	○	○	○	○	○			○		

○:不検出

表1-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ピーマン		キャベツ			さつまいも	(紅あずま) さつまいも		かぼちゃ	(男しゃく) じゃがいも
	茨城県	福島県	群馬県	岩手県	神奈川県		千葉県	茨城県		
8 シアノホス	○	○	○	○	○				○	
9 テルブホス	○	○	○	○	○				○	
10 トルクロホスメチル	○	○	○	○	○				○	
11 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○	○	○	○				○	
12 パラチオンメチル	○	○	○	○	○				○	
13 ビラクロホス	○	○	○	○	○					
14 ピリミホスメチル	○	○	○	○	○				○	
15 フェナミホス			○	○	○				○	
16 フェントロチオン(MEP)	○	○	○	○					○	
17 ブタミホス	○	○	○	○	○				○	
18 プロチオホス	○	○	○	○	○				○	
19 ホスチアゼート	○	○	○	○	○				○	
20 マラチオン(マラソン)	○	○	○	○	○				○	
21 メチダチオン		○	○	○	○				○	
22 ジメトエート	○	○								
23 アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	○	○	○		○
24 アトラジン	○	○	○	○	○				○	
25 アラクロール	○		○	○	○				○	
26 クレンキシムメチル	○	○	○	○	○				○	
27 ジクロラン				○						
28 トリアレート	○	○	○	○	○					
29 ビフェントリン	○	○	○	○	○				○	
30 フェンバレレート	○	○							○	
31 フェンプロパトリン	○	○	○	○	○				○	
32 フサライド	○	○	○						○	
33 フルトラニル	○	○	○	○	○				○	
34 プロモプロピレート	○	○	○	○	○				○	
35 ミクロブタニル			○	○	○				○	
36 レナシル	○	○	○	○	○				○	
37 ジフェノコナゾール	○	○	○	○	○					
38 シフルフェナミド	○	○		○						
39 アクリナトリン	○	○								
40 ジメチピン										
41 フルシトリネート	○	○								
42 EPN	○	○	○	○	○				○	
43 クロルフェナピル			○	○	○					
44 アジンホスメチル						○				○
45 ジメチルビンホス				○	○					
46 ダイアジノン	○	○	○	○	○				○	
47 テトラクロルビンホス			○						○	○
48 ホレート									○	
49 クロルプロファム	○	○	○	○	○				○	
50 シアナジン				○	○				○	
51 シメコナゾール			○	○	○	○	○	○	○	
52 シプロジニル						○	○	○		
53 クロフェンテジン						○				
54 アニロホス				○	○	○				○
55 カルバリル						○	○	○		○
56 カルプロパミド						○	○	○		
57 テブフェナジド						○	○	○		
58 テフルベンズロン						○	○	○		

検査依頼項目

○:不検出

表1-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ピーマン		キャベツ			さつまいも		(紅あずま) さつまいも		かぼちゃ	(男しゃく) じゃがいも
	茨城県	福島県	群馬県	岩手県	神奈川県	千葉県		茨城県	神奈川県	北海道	
59	フェノカルブ					○	○	○		○	
60	イミダクロプリド					○	○	○		○	
61	インダノファン					○					
62	エボキシコナゾール					○					
63	オキサジクロメホン										
64	クロキントセツメキシル					○				○	
65	クロチアニジン					○	○	○		○	
66	シアゾファミド					○	○	○			
67	ジメトモルフ					○	○	○		○	
68	チアトキサム					○	○	○		○	
69	トリフルムロン					○	○	○		○	
70	ノバルロン					○	○	○		○	
71	ピラクロストロピン					○	○	○		○	
72	ピリミカーブ					○	○	○		○	
73	フェンアミドン					○	○	○		○	
74	フェンピロキシメート					○	○	○		○	
75	フルフェノクスロン					○	○	○			
76	フルリドン					○	○	○		○	
77	ヘキシチアゾクス					○	○	○			
78	ベンゾフェナップ					○	○	○		○	
79	メキシフェノジド					○	○	○		○	
80	モノリニューロン									○	
81	ラクトフェン					○	○	○		○	
82	フェノキシカルブ					○	○	○			
83	インドキサカルブ					○	○	○		○	
84	オキサミル					○	○	○		○	
85	ルフェヌロン					○	○	○		○	
86	クロマフェノジド					○	○	○		○	
87	クロルフルアズロン					○	○	○		○	
88	イマザリル					○	○	○		○	
89	イプロバリカルブ					○					
90	オキシカルボキシ					○				○	
91	クロリダゾン					○	○	○			
92	ジウロン					○	○	○		○	
93	ボスカリド					○	○	○		○	
94	メタベンズチアズロン					○	○	○		○	
95	チアベンダゾール					○	○	○		○	
96	チアクロプリド					○	○	○		○	
97	チオジカルブ及びメソミル					○	○	○		○	
98	ピリフタリド					○	○	○		○	
99	クロメブロップ									○	
100	ブタフェナシル							○			
101	ベンダイオカルブ							○		○	
102	ジメチリモール									○	
103	ナプロアニリド										
104	フラチオカルブ						○	○			
105	フラトピル						○	○		○	
106	オリザリン									○	
107	フェリムゾン						○	○		○	
108	フェンメディファム						○	○			

検査依頼項目

○:不検出

表1-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ピーマン		キャベツ			さつまいも	さつまいも (紅あずま)	かぼちゃ	(男しゃく) じゃがいも
	茨城県	福島県	群馬県	岩手県	神奈川県				
109							○	○	○
110							○	○	
111						○	○	○	
112							○	○	○
113						○			○
114									
115							○	○	○
116									○
117									○
118									○
119	○	○	○	○	○				○
120	○	○	○		○				○
121	○	○	○	○	○				○
122	○	○	○	○	○				○
123	○	○	○	○	○				○
124									
125									
126									
127	○	○							
128									
129									
130				○	○				
131									
132									
133	○	○	○		○				○
134	○	○	○		○				○
135	○	○	○	○	○				○
136	○	○							
137	○	○							
138									
139									
140			○						○
141				○	○				
142			○						○
143					○				
144									○
145									○
146									
147									○
148									
149									
150									
151									

検査依頼項目

○:不検出

表1-3 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ほうれん草	小松菜	こかぶ		大根	黄芯白菜	春菊	(コシヒカリ) 玄米	大豆	日本なし (幸水)
	栃木県	群馬県	千葉県		神奈川県	茨城県	群馬県	長野県	北海道	栃木県
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	49	50	50	50	50
検出項目	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
検査依頼項目数	1 エチオン	○	○							○
	2 エトプロホス	○	○							
	3 カズサホス	○	○					○	○	○
	4 キナルホス	○	○					○	○	○
	5 クロルピリホス	○	○					○	○	○
	6 クロルピリホスメチル	○	○					○	○	○
	7 クロルフェンビンホス	○	○					○	○	○
	8 シアノホス	○	○					○	○	○
	9 テルブホス	○	○					○		
	10 トレクロホスメチル	○	○					○	○	○
	11 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○						○	○
	12 パラチオンメチル	○	○					○	○	○
	13 ビラクロホス	○	○					○	○	○
	14 ビリミホスメチル	○	○					○	○	○
	15 フェナミホス	○	○					○	○	○
	16 フェニトロチオン(MEP)	○	○					○	○	○
	17 ブタミホス	○	○					○	○	○
	18 プロチオホス	○	○					○		○
	19 ホスチアゼート		○					○		○
	20 マラチオン(馬拉ソ)	○						○	○	○
	21 メチダチオン	○	○					○	○	○
	22 ジメトエート	○						○	○	○
	23 アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 アトラジン	○	○					○	○	○
	25 アラクロール	○	○					○	○	○
	26 クレソキシムメチル	○	○					○	○	
	27 ジクロラン									
	28 トリアレート	○	○					○		○
	29 ビフェントリン	○	○					○		○
	30 フェンバレレート							○	○	○
	31 フェンプロバトリン	○	○						○	
	32 フサライド	○	○					○	○	
	33 フルトラニル	○	○					○	○	
	34 プロモプロピレート	○	○					○	○	○
	35 ミクロブタニル	○	○						○	○
	36 レナシル		○					○	○	○
	37 ジフェノコナゾール	○	○					○	○	○
	38 シフルフェナミド	○	○		○	○		○		○
	39 アクリナトリン							○	○	○
	40 ジメチピン	○						○		○
	41 フルシトリネート		○					○	○	○
	42 EPN	○	○					○	○	○
	43 クロルフェナピル								○	○
	44 アジンホスメチル		○	○	○	○	○	○		○
	45 ジメチルピンホス							○		
	46 ダイアジン	○	○					○	○	○
	47 テトラクロルピンホス	○	○					○		
	48 ホレート	○	○							
	49 クロルプロファム	○	○							○

○:不検出

表1-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ほうれん草	小松菜	こかぶ		大根	黄芯白菜	春菊	(コシヒカリ) 玄米	大豆	(幸水) 日本なし
	栃木県	群馬県	千葉県	神奈川県	茨城県	群馬県	長野県	北海道	栃木県	
50 シアナジン	○	○						○		
51 シメコナゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
52 シプロジニル			○	○	○	○	○			
53 クロフェンテジン			○			○	○			
54 アニロホス			○			○	○			
55 カルバリル			○	○	○	○	○			
56 カルプロバミド			○			○	○			
57 テブフェノジド			○	○	○	○	○			
58 テフルベンズロン			○	○	○	○	○			
59 フェノブカルブ			○	○	○	○	○			
60 イミダクロプリド				○	○		○			
61 インダノファン			○			○	○			
62 エボキシコナゾール			○			○	○			
63 オキサジクロメホシ			○			○	○			
64 クロキントセツトメキシル			○	○	○	○	○			
65 クロチアニジン							○			
66 シアゾファミド			○	○	○	○	○			
67 ジメモルフ			○	○	○	○	○			
68 チアメトキサム			○			○	○			
69 トリフルムロン			○	○	○	○	○			
70 ノバルロン			○	○	○	○	○			
71 ビラクロストロビン			○	○	○	○	○			
72 ビリミカーブ			○	○	○	○	○			
73 フェンアミドン			○	○	○	○	○			
74 フェンピロキシメート			○	○	○		○			
75 フルフェノクスロン			○	○	○	○	○			
76 フルリドン			○	○	○	○	○			
77 ヘキシチアゾクス			○	○	○	○	○			
78 ベンゾフェナップ			○	○	○	○	○			
79 メキシフェノジド			○	○	○	○	○			
80 モリニューロン			○			○	○			
81 ラクトフェン			○	○	○	○	○			
82 フェノキシカルブ			○	○	○	○	○			
83 インドキサカルブ			○	○	○	○	○			
84 オキサミル							○			
85 ルフェスロン			○	○	○	○	○			
86 クロマフェノジド				○	○	○	○			
87 クロルフルアズロン			○	○	○	○	○			
88 イマザリル			○	○	○	○				
89 イプロバリカルブ			○	○	○	○				
90 オキシカルボキシ			○			○				
91 クロリダゾン			○	○	○	○				
92 ジウロン			○	○	○	○				
93 ボスカリド			○	○	○	0.012(40)				
94 メタベンズチアズロン			○	○	○	○				
95 チアベンダゾール			○	○	○	○				
96 チアクロプリド			○							
97 チオジカルブ及びメソミル										
98 ビリフタリド			○	○	○	○	○			
99 クロメプロップ			○	○	○		○	○		

検査依頼項目

○:不検出

表1-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

	農産物名	ほうれん草	小松菜	こかぶ	大根		黄芯白菜	春菊	(コシヒカリ) 玄米	大豆	(幸水) 日本なし
		栃木県	群馬県	千葉県	神奈川県	茨城県	群馬県	長野県	北海道	栃木県	
100	ブタフェナシル				○	○					
101	ベンダイオカルブ			○	○	○					
102	ジメチリモール				○	○					
103	ナプロアニリド				○	○					
104	フラチオカルブ										
105	フラトピル			○	○	○					
106	オリザリン				○	○					
107	フェリムゲン				○	○					
108	フェンメディファム				○	○					
109	ヘキサフルムロン										
110	プロバキザホップ										
111	クロロクスロン			○			○	○			
112	テブチウロン			○			○	○			
113	クミルロン			○			○				
114	ジフルベンズロン				○	○	○				
115	ベンシクロン				○	○					
116	シクロエート							○			
117	ダイムロン							○			
118	トリチコナゾール							○			
119	フェントエート	○	○						○	○	○
120	ホサロン	○									○
121	エンドスルファン		○						○	○	○
122	フェナリモル	○	○							○	○
123	ブプロフェジン	○	○						○	○	○
124	ピリダベン										○
125	ベンディメタリン										○
126	ジエトフェンカルブ										○
127	イソプロチオラン								○	○	○
128	カフェンストロール										
129	フェンスルホチオン									○	
130	アザコナゾール									○	
131	キノクラミン(ACN)								○		
132	プロピコナゾール										
133	ピリダフェンチオン		○								
134	プロフェノホス										
135	フィプロニル	○	○						○	○	
136	シフルトリン								○	○	
137	フルバリネート									○	○
138	ピペロホス	○									
139	シハロホップブチル	○							○	○	
140	ピラゾホス	○									
141	エトリムホス		○								
142	ベンフルラリン										
143	サリチオン										
144	ジクロフェンチオン										
145	フルキンコナゾール										○
146	ジチオピル								○	○	
147	アザメチホス							○			
148	スピノサド							○			
149	ピラゾリネート				○	○	○				
150	エディフェンホス								○		
151	ビフェノックス								○		

検査依頼項目

○:不検出

表2 輸入農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	バナナ	グレープフルーツ	メロゴールド		パブリカ		農産物名	バナナ	グレープフルーツ	メロゴールド		パブリカ		
			アメリカ	オランダ	ニュージーランド	アメリカ				オランダ	ニュージーランド			
生産国	エクアドル	アメリカ	オランダ	ニュージーランド	生産国	エクアドル	アメリカ	オランダ	ニュージーランド					
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	36	クレソキシムメチル	○	○	○	○	○		
検出項目	1	0	0	0	0	37	クロルフェンゾン	○						
検査依頼項目	1	EPN	○	○	○	○	○	38	シメコナゾール	○	○	○		
	2	アジンホスメチル	○				39	トリアレート	○	○	○	○	○	
	3	エチオン	○	○	○	○	○	40	ハルフェンブロックス	○	○			
	4	エトプロホス	○	○	○	○	○	41	ピフェントリン	0.011(0.1)	○	○	○	○
	5	エトリムホス	○		○			42	フィプロニル	○	○	○	○	○
	6	カズサホス	○	○	○	○	○	43	フェンバレレート	○	○	○	○	○
	7	キナルホス	○	○	○	○	○	44	フェンプロパトリン	○	○	○	○	○
	8	クロルピリホス	○	○	○	○	○	45	ブプロフェジン	○	○	○	○	○
	9	クロルピリホスメチル	○	○	○	○	○	46	マイクロタニル	○	○	○		
	10	クロルフェンピホス	○	○	○	○	○	47	レナシル	○	○	○	○	○
	11	シアノホス	○	○	○	○	○	48	ジフェノコナゾール	○			○	○
	12	ジクロフェンチオン	○		○			49	シフルフェナミド	○			○	○
	13	テルブホス	○	○	○	○	○	50	フルシトリネート	○	○	○	○	○
	14	トルクロホスメチル	○	○	○	○	○	51	エディフェンホス		○	○		
	15	バラチオン(バラチオンエチル)	○	○	○	○	○	52	ダイアジン		○	○	○	○
	16	バラチオンメチル	○	○	○	○	○	53	ピリダフェンチオン		○	○	○	○
	17	ピラクロホス	○					54	ブタミホス	○	○	○	○	○
	18	ピリミホスメチル	○	○	○	○	○	55	イソプロチオラン	○	○	○	○	○
	19	フェナミホス	○	○	○			56	エンドスルファン	○	○	○	○	○
	20	フェントロチオン(MEP)	○	○	○		○	57	トリブホス(DEF)		○			
	21	フェンスルホチオン	○					58	ピラゾホス		○			
	22	フェントエート	○	○	○	○	○	59	フェナリモル		○	○	○	○
	23	プロチオホス	○	○	○			60	フサライド		○	○	○	○
	24	プロフェノホス	○		○	○	○	61	フルキンコナゾール		○			
	25	ホサロン	○	○		○	○	62	プロモプロピレート		○	○	○	○
	26	ホスチアゼート	○	○	○	○	○	63	クロルプロファム				○	○
	27	ホスファミジン	○					64	フルトラニル				○	○
	28	ホレート	○	○	○			65	ベンフルラリン				○	○
	29	マラチオン(マラソン)	○	○	○	○	○	66	アクリナトリン				○	○
	30	メチダチオン	○	○	○	○	○	67	シフルトリン				○	○
	31	ジトエート	○			○	○	68	フルバリネート				○	○
	32	アゾキシストロピン	○			○	○	69	ジメチルピホス			○		
	33	アザコナゾール	○	○				70	テトラクロルピホス			○		
	34	アトラジン	○	○	○	○	○	71	ピペロホス			○		
	35	アラクロール	○	○	○	○	○	72	アニロホス			○		

○:不検出

表3 輸入畜産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

畜産物名	牛				豚		鶏		畜産物名	牛				豚		鶏	
	牛肉(バラ)	豚肉	鶏肉(ヒレ)	鶏肉(もも肉)	牛肉(バラ)	豚肉	鶏肉(ヒレ)	鶏肉(もも肉)		牛肉(バラ)	豚肉	鶏肉(ヒレ)	鶏肉(もも肉)				
生産国	オーストラリア	アメリカ	ブラジル	生産国	オーストラリア	アメリカ	ブラジル	生産国	オーストラリア	アメリカ	ブラジル						
検査依頼項目数	12	12	12	12	12	12	12	検査依頼項目数	9	9	9	9	9	9	9	9	
検出項目	0	0	0	0	0	0	0	4	BHC	○	○	○	○	○	○	○	
検査依頼項目	1	エンドスルファン	○	○	○	○	○	5	γ-BHC	○	○	○	○	○	○	○	
	2	ピフェントリン	○	○	○	○	○	6	DDT	○	○	○	○	○	○	○	
	3	プロシミジン	○	○	○	○	○	7	アルドリル及びディルドリン	○	○	○	○	○	○	○	
	8	エンドリル	○	○	○	○	○	9	クロルデン	○	○	○	○	○	○	○	
								10	ジコホル	○	○	○	○	○	○	○	
								11	ヘキサクロベンゼン	○	○	○	○	○	○	○	
								12	ヘプタクロ	○	○	○	○	○	○	○	

○:不検出

イ 残留動物用医薬品検査

(7) 国内産畜産物の検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の11検体・計192項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体は無かった(表4)。

(イ) 輸入畜水産物及び水産物の検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の15検体・計218項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体は無かった(表5)。

表4 国産畜産物の動物用医薬品検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

畜産物名	鶏肉(むね肉)		鶏肉(ささみ)		鶏卵(赤玉)		鶏卵(白玉)		牛肉(ネック)	豚肉(カタロース)
	青森県	岩手県	宮崎県	岩手県	福島県	岩手県	福島県	(市外)		
生産地区										
検査依頼項目数	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17
検出項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査依頼項目	1 トリメプリーム					○	○	○	○	○
	2 スルファジアジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 オルメプリーム					○	○	○	○	○
	4 スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 スルファメラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 スルファメキシピリダジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 スルファモノメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 スルファクロルピリダジン	○	○	○	○	○				○
	10 スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 スルファドキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 スルファキノキサリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 スルファジメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 スルファニトラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 フルメキン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 ミロキサシ	○	○	○	○	○				○
	17 オキシロニック酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 ピロミド酸	○	○	○	○	○				○
	19 ジフロキサシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 ナリジクス酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:不検出

表5 輸入畜水産物の動物用医薬品検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

畜水産物名	牛肉	牛肉(バラ)	豚肉	豚肉(ヒレ)	鶏肉	鶏肉(もも肉)	えび	ブラックタイガー				(バナメイエビ) むき海老	バナメイエビ	サーモン	サーモントラウト	
								インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア					
生産国	オーストラリア		アメリカ		ブラジル			インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	ベトナム	インド	チリ		
検査依頼項目数	17	17	17	17	18	18	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12
検出項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査依頼項目	1 トリトブリン	○	○				○	○	○	○	○	○	○			
	2 スルファジアジン	○	○	○	○	○								○	○	○
	3 オルメトブリン	○	○					○	○	○	○	○	○			
	4 スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 スルファメラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 スルファメキシピリダジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 スルファモノメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 スルファクロルピリダジン			○	○	○	○									
	10 スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 スルファドキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 スルファキノキサリン			○	○	○	○									
	13 スルファジメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 スルファニトラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	15 フルメキシ	○	○	○	○	○	○									
	16 ミロキサシ			○	○	○	○							○	○	○
	17 オキシリニック酸	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 ピロリド酸	○	○	○	○	○	○									
	19 ジフロキサシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	20 ナリジクス酸	○	○	○	○	○	○								○	○

○:不検出

ウ 放射性物質検査

平成23年3月11日の福島第一原発事故後より放射性ヨウ素(ヨウ素 131)と放射性セシウム(Cs-134とCs-137)について測定を行っている。保健所及び上下水道局水道水質課から依頼のあった、総数10検体・延べ20項目(内訳:食品2検体4項目、水など環境試料8検体16項目)について放射能検査(放射性セシウム測定)を実施した。

また、チェルノブイリ原発事故後、放射性セシウム(Cs-134とCs-137)について、平成元年から市内に流通する輸入食品を対象に行っており、今年度は1検体2項目の検査を実施した。

(7) 市内流通食品

保健所依頼分の、市内に流通する一般食品3検体について検査を実施したところ、国産干し芋にCs-137が2.1 Bq/kg、輸入食品のポルチャーニにCs-137が2.5 Bq/kg(基準値(Cs-134及び137の合計で100 Bq/kg以下))検出した(表6)。

(イ) 水道水

上下水道局水道水質課依頼分の水道原水及び配水8検体について検査を実施したところ、検査結果は全て不検出であった(表7)。

表6 市内流通食品の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数	原材料等産地 又は 製造所等所在地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
一般食品	干し芋	1	茨城県	不検出(2.3 Bq/kg 未満)	2.1 Bq/kg
	さくらんぼゼリー	1	山形県	不検出(2.1 Bq/kg 未満)	不検出(2.0 Bq/kg 未満)
	ポルチャーニ	1	ルーマニア	不検出(2.3 Bq/kg 未満)	2.5 Bq/kg

表7 水道水等の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数	水源地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
飲料水	水道原水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
	水道水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)

3 微生物部門

(1) 消化器・食品細菌担当

腸管系細菌検査では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく届出及び市内外の食中毒の発生により消化器症状（下痢、腹痛等）を呈した患者やその接触者から腸管系感染症原因菌（コレラ菌、赤痢菌、チフス菌・パラチフス A 菌、腸管出血性大腸菌等）の分離・同定を行い、市内における食中毒被害の拡大防止や感染症のまん延防止に寄与している。また、分離された原因菌について、遺伝子解析を行い得られた分子疫学解析結果を保健所等の行政機関に還元している。

食品細菌検査では、食中毒予防等のため、川崎市食品衛生監視指導計画に基づき保健所及び 7 保健所支所から搬入された市内流通食品（食肉製品、乳製品、弁当類、そうざい等）について、食品衛生法に基づく成分規格検査や衛生指導検査（細菌数、大腸菌群、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌、腸管出血性大腸菌等）を実施している。また、川崎市食品 GLP の対応として、外部精度管理調査（一般細菌数測定、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、E.coli 検査）に年 5 回参加している。

ア 腸内細菌

(7) 感染性細菌検査

感染症の発生に伴う感染性細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について、354 検体、669 項目の検査を実施した。月別検査件数は、表 1 のとおりである。また、菌種別の検出状況は、表 2 のとおりである。

分離又は搬入された腸管出血性大腸菌 98 検体（すべて感染症検体由来）についての血清型及び毒素型は、表 3 に示すとおりである。カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の β -ラクタマーゼ遺伝子検査は、届出対象外も

含め、41 検体が搬入された。菌種別カルバペネマーゼ遺伝子の保有状況は、表 4 のとおりである。

(イ) 細菌性食中毒検査

市内の食中毒や有症苦情及び他都市食中毒関連調査の検体が 559 検体搬入された。月別検査件数は、表 5 のとおりで、カンピロバクター・ジェジュニが 22 件で、最も多く検出された。

イ 食品細菌

食品細菌検査は、表 6 に示すとおりである。総検体数は 1046 検体で、不適項目（食品衛生法成分規格及び川崎市の食品等の衛生指導基準等による）は延べ 101 件（9.66%）で、成分規格違反はなく、すべて川崎市衛生指導基準等による不適件数であった。

食品別の細菌検出状況については、大腸菌群は非加熱そうざい、弁当類、加熱そうざい等から、セレウス菌は非加熱そうざい、豆腐等から、腸炎ビブリオは魚介類等から、ウェルシュ菌は加熱そうざい等から検出されている。

ウ 水質検査

水質細菌検査は、総検体数 335 検体（井戸水 83 検体、浴槽水 159 検体、貯水槽水 9 検体、プール水 84 検体等）が搬入された。

水質基準に関する省令、遊泳用プールの衛生基準等を基に一般細菌数及び大腸菌又は大腸菌群の検査を実施し、井戸水で一般細菌数 17 件、大腸菌 2 件、プール水で一般細菌数 2 件、浴槽水で大腸菌群 3 件が基準不適であった。

表1 感染性細菌検査における月別検査件数（菌株含む）

項目 月	検体数	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌	腸炎ビブリオ（コレラ菌を除く） （チフス菌・パラチフスA菌を除く）	サルモネラ属菌 （チフス菌・パラチフスA菌を除く）	腸炎ビブリオ（コレラ菌を除く）	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フイドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌	その他	総項目数
4月	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5
5月	27	9	9	9	9	62	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	1	0	198
6月	37	0	1	1	1	35	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	47
7月	60	0	1	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	60
8月	86	1	1	1	1	87	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0	105
9月	39	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	39
10月	23	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	23
11月	26	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	26
12月	21	1	1	5	1	15	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0	41
1月	14	1	1	4	1	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	0	33
2月	9	1	1	1	1	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	0	28
3月	7	3	3	3	3	15	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	0	64
総計	354	16	18	24	17	370	17	16	18	18	16	16	16	16	16	16	16	16	41	2	669

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検査

表2 感染性細菌検査における検出状況（菌株含む）

項目 月	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌 （腸管出血性大腸菌を除く）	腸管出血性大腸菌	サルモネラ属菌 （チフス菌・パラチフスA菌を除く）	腸炎ビブリオ （コレラ菌を除く）	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フイドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌	その他	検出細菌数 合計
4月																				0
5月						5													1	6
6月						10												1		11
7月						22												2		24
8月						21														21
9月						14												1		15
10月						8														8
11月						7												1	2	10
12月			3			6												1		10
1月						3												1		4
2月						2												1		3
3月									1									3		4
検出件数	0	0	3	0	0	98	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	3	116

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検出検体

表3 腸管出血性大腸菌のO血清群及び毒素型

O血清群	毒素型	株数
O26	VT1	4
O157	VT2	38
O157	VT1&2	36
O103	VT1	4
O103	VT1&2	1
O111	VT1&2	1
O91	VT1	1
O91	VT1&2	1
O137	VT2	3
OUT	VT1	3
OUT	VT2	2
OUT	VT1&2	4
計		98

表4 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の菌種別遺伝子検出状況（令和5年4月～令和6年3月）

菌種	遺伝子検査 実施数	カルバペネマーゼ遺伝子 保有数	カルバペネマーゼ遺伝子 内訳
<i>Enterobacter cloacae</i>	18	2	IMP-1
<i>Klebsiella aerogenes</i>	19	0	—
<i>Escherichia coli</i>	2	2	NDM-5、NDM-7
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	0	—
計	41	4	

表5 細菌性食中毒検査における月別検査件数及び検出状況（菌株含む）

項目	検体数	赤痢菌	サルモネラ属菌 (チフス菌、パラチフスA菌を除く)	病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ (コレラ菌含む)	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター・ジエジユニ	カンピロバクター・コリ	ウエルシュ菌	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ(コレラ菌非O1)	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	セレウス菌	クドア・セブテンブククタータ	検出細菌種数 合計
月																				
4月	4							1												1
5月	22						1	1												2
6月	2						1	2												3
7月	37		4				2													6
8月	50				1		1													2
9月	6						1	2												3
10月	109						2	3		5										10
11月	42							1		5										6
12月	17						1	2												3
1月	71		2					4		2										8
2月	72							5		1										6
3月	127						3	1	1	1										6
総計	559	0	6	0	1	0	12	22	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56

表6 食品細菌不適合数(令和5年4月～令和6年3月)

検体数	不適合検体数	不適合検出率	食品除去検査阳性数																				検査阳性項目総数					
			一般細菌数	大腸菌群	E・c・o・i：最確数(MPN)	大腸菌	腸管出血性大腸菌(6血清※4)	病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌を除く)	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌(チフス菌等も含む)	赤痢菌	エルシニア・エンテロコリチカ	カンピロバクター属菌	セレウス菌	腸炎ビブリオ	腸炎ビブリオ最確数(MPN)	コシラ菌	NAGビブリオ	その他ビブリオ科(※5)	リステリア菌	クロストリジウム属菌	ウェルシュ菌		ボツリヌス菌	緑膿菌	腸球菌	真菌類(カビ・酵母)	その他試験(※6)
魚介類及びその加工品	10	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生食用鮮魚介類	20	1.500%	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
魚介類等(その他)	7	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ゆでだこ・ゆでがに	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚介類加工品	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷凍食品	4	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食肉・鶏肉	8	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
食肉製品・鶏肉製品	9	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食肉加工品	1	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵	4	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵加工品	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳及びその加工品	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵製品	5	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卵類加工品	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類・豆類及びその加工品	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類・米・もち・豆類	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類加工品(その他)	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炒り穀	18	21.11%	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
包装豆類	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豆腐(その他)	26	11.4231%	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
豆腐加工品(その他)	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜・果物及びその加工品	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜・果物・その他	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漬物	12	0.00%	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生菓子	69	8.70%	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
菓子類	3	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水・粉末清涼飲料水	6	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷菓・氷菓	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調味料(おろし・しょうゆ等)	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レトルト	3	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他食品	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
店内スライス・小分け食品	0	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他加工食品(加熱食品)	8	2.500%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他加工食品(非加熱食品)	11	5.4545%	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
そうざい類	297	15.505%	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
加熱そうざい	213	38.1784%	26	41	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
非加熱そうざい	14	7.14%	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
加熱そうざいのみのみ当類(調理心当類)	5	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加熱そうざいを含む弁当類	94	15.96%	13	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非加熱そうざいを含む弁当類	129	0.78%	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具採取	58	6.90%	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ふきとり	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他採取	2	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検体数	1046	9.66%	58	97	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	209

(2) 呼吸器・環境細菌担当

結核菌・レジオネラ属菌・溶血性レンサ球菌・インフルエンザ菌・百日咳菌等の呼吸器系細菌や髄膜炎菌等の検査ならびに研究を行っている。

ア 結核関連検査

(7) 塗抹・培養検査

結核登録患者管理検診、結核患者接触者健診対象者に対して塗抹・培養検査を実施している。

令和5年度は68件の搬入があった。

結果は全て陰性であった。

(イ) IGRA検査

結核患者接触者健診においてIGRA検査を実施している。QFT-PLUS検査件数は271件で、結果は表1に示すとおり陽性34件(12.5%)、陰性237件(87.5%)であった。

(ウ) 結核菌分子疫学解析

川崎市分子疫学調査として、平成25年度から川崎市内で発生届のあった患者の菌株を収集し、JATA15-VNTR法で遺伝子解析を行っている。令和元年度から解析領域を24領域に拡大し、解析を実施している。

令和5年度は菌株55株が搬入され遺伝子解析を行った。更に、患者の疫学情報とあわせて分析を行い、菌バンクとしてデータを蓄積した。

イ レジオネラ属菌検査

浴槽水等の環境水、レジオネラ症患者発生時の患者喀痰や患者環境調査検体等からのレジオネラ属菌の分離培養を行った。また、遺伝子検査としてLAMP法を行った。

レジオネラ属菌検査の総数は284件、LAMP法は29件であった。

各検査材料別の件数および検出血清型は表2-1及び表2-2に示すとおりである。

ウ 感染症発生動向調査

A群溶血性レンサ球菌検査について、令和5年度は7件の搬入があった。このうち5件でA群溶血性レンサ球菌が検出された。T型別結果は表3に示すとおりである。

エ 感染症細菌検査

感染症の発生に伴う細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について検査を実施した。

インフルエンザ菌は10株搬入され、f型1株、e型1株、non-typable(NTHi)8株であった。

劇症型溶血性レンサ球菌は17症例18株搬入され、A群11株、B群1株、G群5株であった。型別結果は表4に示すとおりである。

肺炎球菌は24症例24株の搬入があり、血清型別を行った。血清型別結果は表5に示すとおりである。

表1 QFT-PLUS検査

依頼件数	陽 性	陰 性	判定不可
271	34(12.5%)	237(87.5%)	0(0.0%)

表2-1 レジオネラ属菌検出状況

		環境			感染症		計
		浴槽水	採暖槽水	シャワー水等	喀痰	患者環境調査	
総検体数		187	33	8	12	44	284
検出検体数(※)		28	10		2		40
検 出 数	<i>L. pneumophila</i>	計	39	12		2	53
	血 清 群	SG1	7	2		2	11
		SG3	6	1			7
		SG5	9	3			12
		SG6	5	2			7
		SG7	2	1			3
		SG8	2	3			5
		SG9	2				2
		SG10	1				1
		SG12	4				4
		SGUT	1				1

※ 1検体から複数の属・血清群が分離された場合は1と計上

表2-2 LAMP法によるレジオネラ属菌遺伝子検出状況

	環境		感染症		計
	浴槽水	採暖槽水	喀痰	患者環境調査	
総検体数	16	2	4	7	29
検出検体数	9			1	10

表3 A群溶血性レンサ球菌 T 型別

区分	T 型別				計
	T1	T12	T28	型別不能	
件数	2	1	1	1	5

表4 劇症型溶血性レンサ球菌 型別

区分	A群		B群	G群	計
	T 型別				
	T1	型別不能			
件数	6	5	1	5	17

表5 肺炎球菌 血清型別

区分	血清型別														計
	13価ワクチン含有株														
	3	19A	8	11A/E	15B	22F	21	24F	31	35B	24B	15C	37	25F	
件数(15歳未満)					1	1	2		1	1					6
件数(15歳以上)	4	1	1	1	1			1	3	2	1	1	1	1	18

(3) ウイルス・衛生動物担当

ウイルス・衛生動物検査担当では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づく感染症発生動向調査事業及び感染症対策における積極的疫学調査等により、患者等から採取された検体について、ウイルス及びリケッチアの検査を行っている。また、食品衛生法に基づくノロウイルス等食中毒起因ウイルスの検査及びクモ・アリ等の衛生害虫の同定検査を行っている。

ア 感染症対策におけるウイルス等検査

(7) 感染症発生動向調査事業

市内の病原体定点医療機関等においてインフルエンザ様疾患、RS ウイルス感染症、伝染性紅斑、水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎、急性脳炎（急性脳症含む）及び急性弛緩性麻痺と診断された患者から採取された 327 検体について、遺伝子検査及び培養細胞を用いたウイルス分離培養を行った。結果については月別件数を表 1、疾患別件数を表 2 に示した。

(イ) 発熱発疹性ウイルス検査

医療機関において麻疹又は風しん（疑い含む）と診断された患者 16 名の検体について遺伝子検査を行った。その結果、麻疹ウイルス及び風しんウイルスはすべて陰性であった。なお、先天性風しん症候群の検査依頼はなかった。

(ウ) 蚊媒介感染症検査

医療機関においてデング熱（疑い含む）又はチクングニア熱疑いと診断された患者 6 名について遺伝子検査を実施した。5 名がデングウイルス陽性となり、デングウイルス 2 型が 3 例、1 型と 3 型が各 1 例から検出された。

(イ) ダニ媒介感染症検査

医療機関において日本紅斑熱疑い、つつが虫病疑いと診断された患者 2 名について日本紅斑熱を含むリケッチア及びつつが

虫病リケッチアの遺伝子検査を実施し、日本紅斑熱リケッチアが 1 例陽性であった。また、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）疑いと診断された患者について SFTS ウイルスの遺伝子検査を行い、陰性であった。

(オ) A 型肝炎・E 型肝炎ウイルス検査

医療機関において E 型肝炎と診断された患者の計 12 名について、型別のための遺伝子検査を行った。E 型肝炎ウイルス G3 が 4 例から検出された（表 3）。なお、A 型肝炎の検査依頼はなかった。

(カ) エムボックスウイルス検査

医療機関においてエムボックス（サル痘）疑いと診断された患者 2 名についてエムボックスウイルス及び水痘帯状疱疹ウイルスの遺伝子検査を実施したところ、すべて陰性であった。

(キ) 小児の原因不明急性肝炎ウイルス検査

「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和 4 年 4 月 27 日付け厚生労働省県境局結核感染症課事務連絡）に基づき、医療機関から搬入された患者 1 名の検体について、原因探索のためのウイルス遺伝子検査を実施したが、すべて陰性であった。なお、令和 5 年 8 月で本件に係る保健所における調査は終了した。

(ク) 中東呼吸器症候群（MERS）検査

中東に渡航歴があり、中東呼吸器症候群（MERS）疑いと医療機関において診断された患者 2 名について原因探索のためのウイルス遺伝子検査を実施した。MERS コロナウイルスはすべて陰性であり、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）が 1 名陽性であった。

(ケ) 集団かぜ患者のインフルエンザウイルス検査

市内各区における小学校の集団かぜ初発患者から鼻腔ぬぐい液を採取し、PCR 及びウイルス分離培養にて検査を行った。その結果、7 集団でインフルエンザウイルスが

検出された(表 4)。

(3) 新型コロナウイルス検査

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)から5類感染症となり、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の保健所支所からの検査の依頼目的は、主に社会福祉施設での集団発生の拡大防止であった。発症者及び濃厚接触者等の鼻咽頭ぬぐい液又は唾液等136検体についてリアルタイムPCR検査を行ったところ15例が陽性となった(表5-1)。

また、令和3年2月5日付け厚生労働省健康局結核感染症課長通知(健感発0205第4号)「新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について(要請)」に基づき、類型変更後も新たな懸念される変異株の出現に注意が必要であることから、令和5年5月8日から市内14医療機関の協力のもとSARS-CoV-2ゲノムサーベイランス事業を開始した。COVID-19の患者1,034例について次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を実施し、結果は随時川崎市健康安全研究所ホームページで公開した(表5-2)。令和5年4月頃はオミクロン株のBA.2の亜系統の組換え体であるXBB系統が主流であり、中でもEG.5系統が5月下旬から増えて主流となった。11月中旬からはBA.2.86系統が増加し、12月からその亜系統であるJN.1系統が出現し増加し、令和6年1月中旬には主流となった。

(4) 感染症媒介蚊のウイルス検査

蚊媒介感染症の流行を早期に把握する

ため、感染症媒介蚊の発生数及び分布域等のモニタリング及びウイルス保有状況の検査を実施している。市内8箇所において、令和5年5月から10月まで捕集された蚊について種別し、その雌成虫236匹(表6-1、6-2)を用いて蚊媒介感染症のウイルス検査を行った。その結果、ウエストナイルウイルス、デングウイルス、チクングニアウイルス及びフラビウイルス属(ジカウイルスを含む)は、いずれも不検出であった。

イ 食中毒起因ウイルス検査

(7) 食中毒原因究明のための検査

食中毒の原因究明のため、食中毒症状を呈した患者の臨床検体や原因と疑われる施設従業員の検便検体(計320検体)について食中毒起因ウイルスの遺伝子検査を行い、92例でノロウイルスが検出された(表7)。最も多く検出された遺伝子型はGII.4の69例で、次いでGII.2の12例、GI.1の11例であった。また、食中毒疑い事例に伴い検査依頼のあった食品及び拭き取り液208検体についてノロウイルス検査を行ったところ、食品(生かき)1検体からノロウイルスGI.3が陽性となった(表8)。

(4) 収去検査

中央卸売市場北部市場で流通している生かき10検体についてノロウイルス検査を実施したところ、すべて陰性であった。

ウ 衛生動物検査

保健所に相談があった虫体又は卵のうち2検体について、形態学的同定検査及び遺伝子検査を行い、それぞれシロホシヒメグモ、ハイログケグモと同定した。

表1 感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況（月別）

発症年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査検体数	18	26	41	30	18	34	22	30	30	30	21	27	327
検査症例数	18	17	33	18	12	26	22	26	24	24	17	21	258
ウイルス検出症例数	14	13	30	15	10	23	18	21	23	19	14	17	217
インフルエンザウイルスAH1型	1		4	1	1	2	2	7	5	3	1	3	30
インフルエンザウイルスAH3型	7	3	2	3	4	13	9	7	9	6	1		64
インフルエンザウイルスB型						1			1	8	9	8	27
RSウイルスA型			1								1	2	4
RSウイルスB型			2								1	1	4
パラインフルエンザウイルス1型									1				1
パラインフルエンザウイルス2型						1							1
パラインフルエンザウイルス3型		1											1
パラインフルエンザウイルス4型			1	1									2
ライノウイルス	2	4	2	1			3		1				13
アデノウイルス3型							1	3	4				8
アデノウイルス54型						2							2
コクサッキーウイルスA2型		1	2										3
コクサッキーウイルスA4型			2										2
コクサッキーウイルスA6型			1										1
コクサッキーウイルスA16型								1					1
コクサッキーウイルスB5型					1								1
エンテロウイルスA71型		1				1		1					3
ヒトパレコウイルス3型		1	4	2		1							8
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	4	11	7	3	3	3	2	2	3		4	43
ノロウイルスGⅡ.2									1				1
ノロウイルスGⅡ.4											1	1	2
水痘・帯状疱疹ウイルス	2						2						4
EBウイルス				1									1
サイトメガロウイルス	1		1		1	1				1		1	6
ヒトヘルペスウイルス6型			1					1	1			1	4
ヒトヘルペスウイルス7型	1				1		1	1				1	5

表2 感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況（疾患別）

診断名(疑いを含む)	インフル エンザ 様疾患	RS ウイルス	伝 染 性 紅 斑	水 痘	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	感 染 性 胃 腸 炎	急 性 脳 炎	急 性 弛 緩 性 麻 痺	合 計
検査症例数	187	5	1	1	4	5	7	7	16	7	16	2	258
ウイルス検出症例数	165	5	1	1	2	5	7	6	8	3	14	0	217
インフルエンザウイルスAH1型	30												30
インフルエンザウイルスAH3型	64												64
インフルエンザウイルスB型	27												27
RSウイルスA型		3									1		4
RSウイルスB型	1	2					1						4
パラインフルエンザウイルス1型	1												1
パラインフルエンザウイルス2型	1												1
パラインフルエンザウイルス3型	1												1
パラインフルエンザウイルス4型	1					1							2
ライノウイルス	10								1		2		13
アデノウイルス3型							4	4					8
アデノウイルス54型								2					2
コクサッキーウイルスA2型						2	1						3
コクサッキーウイルスA4型						1					1		2
コクサッキーウイルスA6型							1						1
コクサッキーウイルスA16型					1								1
コクサッキーウイルスB5型	1												1
エンテロウイルスA71型					1	1					1		3
ヒトパレコウイルス3型									4		4		8
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	42										1		43
ノロウイルスGⅡ.2										1			1
ノロウイルスGⅡ.4										2			2
水痘・帯状疱疹ウイルス				1					3				4
EBウイルス									1				1
サイトメガロウイルス	1								1		4		6
ヒトヘルペスウイルス6型							1				3		4
ヒトヘルペスウイルス7型	1		1	1							2		5

表3 E型肝炎ウイルス検査

検査年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査件数		1	1	1	1			2	1	3	4	2	16
検査症例数		1	1	1	1			2	1	2	1	2	12
E型肝炎ウイルスⅢ型検出例									1		1	2	4

表4 集団かぜ患者のインフルエンザウイルス検査

検体採取日	学校名	検体数	インフルエンザウイルス検出検体数		
			AH1pdm09	AH3亜型	B型
R5.9.11	大師小学校	5		5	
R5.9.12	はるひ野小学校	1		1	
R5.9.12	富士見台小学校	3	3		
R5.9.13	末長小学校	3		3	
R5.9.13	宿河原小学校	3	2		
R5.9.19	御幸小学校	2	2		
R5.9.28	下小田中小学校	2		2	

表5-1 新型コロナウイルス検査（依頼検査）

検査年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査件数	1	93			11	10			21				136
新型コロナウイルス陽性数		1			11	2			1				15
ゲノム解析数					11								11

表5-2 新型コロナウイルス検査（ゲノムサーベイランス）

検査年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査件数		38	126	113	131	97	79	79	80	78	114	79	1,014
新型コロナウイルス陽性数		34	122	111	129	94	76	71	78	76	111	78	980
発生动向調査検体	1	4	11	4									20
ゲノム解析数	1	42	137	117	131	97	79	79	80	78	114	79	1,034

表6-1 市内8か所における蚊雌成虫の捕集数

区	回数 設置月 捕集場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		5月	6月	6月	7月	7月	7・8月	8月	8月	9月	9月	10月	10月	
川崎区	稲毛公園	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	2	2	9
	健康安全研究所	3	15	0	8	6	0	2	0	2	2	2	0	40
幸区	夢見ヶ崎動物公園	1	1	4	4	1	1	0	2	10	9	5	2	40
中原区	等々力緑地	0	1	0	0	0	18	3	1	2	1	4	6	36
高津区	緑ヶ丘霊園	0	5	9	3	11	0	15	1	0	4	4	0	52
宮前区	宮崎第4公園	2	1	1	2	2	1	2	1	3	5	8	3	31
多摩区	稲田公園	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
麻生区	王禅寺ふるさと公園	2	1	1	1	0	1	1	1	7	4	3	3	25
	合計	8	24	15	19	22	22	24	6	26	26	28	16	236

* 捕集方法：人囿法（健康安全研究所のみ炭酸ガストラップ法）

表6-2 市内蚊雌成虫の種類別捕集数

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
ヒトスジシマカ	2	9	13	10	16	22	23	6	22	25	26	12	186
アカイエカ	4	15	1	8	6	0	1	0	2	1	1	1	40
オオクロヤブカ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	4
ヤマトヤブカ	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	6
合計	8	24	15	19	22	22	24	6	26	26	28	16	236

表7 食中毒起因ウイルス検査（患者等の臨床検体からの検出数）

検査年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査件数	4	14	2	8	1	6	55	29	42	39	38	82	320
検出件数	2	8	0	5	1	0	1	16	17	27	15	28 ^{**}	92
ノロウイルスGⅠ.1									1		3	7	11
ノロウイルスGⅠ.3												1	1
ノロウイルスGⅠ.4									1				1
ノロウイルスGⅠ.6								1					1
ノロウイルスGⅡ.2		4								1		7	12
ノロウイルスGⅡ.3											1		1
ノロウイルスGⅡ.4		1		4			1	10	11	23	9	10	69
ノロウイルスGⅡ.6								2					2
ノロウイルスGⅡ.7										1		1	2
ノロウイルスGⅡ.17	2				1					1		2	6
ノロウイルスGⅡ（型別不明）		3						3	4	1	2	3	16

※1つの検体で複数種のウイルス検出あり

表8 食品及び拭き取り液からのノロウイルス検査（収去検査を除く）

検査年月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3	合計
検査件数	0	15	0	9	0	0	29	23	0	40	39	53	208
ノロウイルスGⅠ.3 検出件数											1		1

【第3章 試験検査】

1 月別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
結核	分離・同定・検査・検出	2	3	3	3	7	2	3	6	11	6	6	10	62
	核酸検査	6	5	2	1	5	3	7	4	4	9	2	4	52
性病	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス・リケッチア等検査	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分離・同定・検出	23	174	219	163	180	178	117	114	134	113	143	122	1,680
抗体検査	ウイルス	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原性微生物の動物試験	クラミア・マイコプラズマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原虫・寄生虫等	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クラミア・トロコモマイシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食中毒	原虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床検査	そ族・節足動物	0	5	10	12	18	16	16	0	0	0	0	0	77
	真菌・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原性微生物検査	細菌	4	7	2	19	43	6	76	34	17	31	33	74	346
	ウイルス	4	14	2	8	1	6	55	29	42	39	38	82	320
理化学的検査	核酸検査	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	4
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液検査(血液一般検査)	エイズ(HIV)検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	HBs抗原・抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生化学検査	その他HCV	12	11	16	16	32	43	51	36	14	6	21	15	273
	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿検査	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
食品等検査	微生物学的検査	72	134	115	146	84	137	193	132	117	124	117	92	1,463	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物)	6	18	69	55	109	34	25	24	71	26	65	18	520	
	動物を用いる試験	1	0	1	1	1	0	3	1	1	0	0	0	10	
	その他(ウイルスも含む)	2	17	28	11	10	28	8	14	3	12	0	0	5	138
	(上記以外)	10	30	39	62	93	37	23	33	23	21	11	13	395	
	細菌検査	5	2	3	3	5	2	5	7	3	2	2	2	3	42
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医薬品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医薬品・家庭用品等検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医薬部外品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化粧品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療用品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	毒劇物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭用品	0	0	0	16	20	19	17	17	0	13	13	0	0	115	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	23	
栄養関係検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水道等水質検査	水道原水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	2	1	0	0	14	32	17	25	1	0	92
	理化学的検査	0	0	2	0	3	0	0	16	18	31	19	7	0	96
	細菌学的検査	4	17	39	62	40	17	29	18	2	7	1	7	243	
	利用水等	0	2	48	33	68	20	22	21	9	7	7	0	7	237
	(プール水等含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物関係検査	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
環境・公害関係検査	大気検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		SO ₂ ・NO ₂ ・O ₃ 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		降下煤塵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		有害化学物質・重金属等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		酸性雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		公共用水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		工場・事業場排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		浄化槽放流水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射能	騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌・底質検査		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
環境生物検査		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		藻類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般室内環境		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境試料(雨水・空気・土壌等)		0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	8
食品		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
温泉(鉱泉)泉質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	7	0	0	2	0	0	5	14	

2 依頼別・項目別検査件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)	
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)					
結核	分離・同定・検出	0	62	0	0	0	62		0	
	核酸検査	0	52	0	0	0	52		0	
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0	
性病	梅毒	0	0	0	0	0	0		(0)	
								1. STS 定性	0	
								2. STS 定量	0	
								3. TPHA 定性	0	
								4. TOHA 定量	0	
								5. 梅毒(ELISA)	0	
							6. その他	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		(0)	
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	ウイルス	0	1,680	0	0	0	1,680		(1,827)
									1. 細胞培養	271
									2. 鶏卵培養	0
									3. 酵素抗体	0
									4. 蛍光抗体	0
									5. 遺伝子増幅	1,556
									6. その他	0
								(6)		
							1. 細胞培養	0		
							2. 鶏卵培養	0		
							3. 酵素抗体	0		
							4. 蛍光抗体	0		
							5. 遺伝子増幅	6		
							6. その他	0		
								(0)		
							1. 細胞培養	0		
							2. 鶏卵培養	0		
							3. 蛍光抗体	0		
							4. 遺伝子増幅	0		
							5. その他	0		
抗体検査	ウイルス	0	0	0	0	0	0		(0)	
								1. 中和試験	0	
								2. HI試験	0	
								3. CP試験	0	
								4. 酵素抗体	0	
								5. ワイル・フェリックス反応	0	
							6. その他	0		
							0			
							(0)			
							1. 性器クラミジア抗体IgA	0		
							IgG	0		
病原微生物の動物試験	0	0	0	0	0	0		0		

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)				
原虫・寄生虫	原虫	0	0	0	0	0	0	(0)	
								1. アメーバー赤痢	0
								2. その他	0
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	(0)	
								1. 蟯虫	0
								2. その他	0
	そ族・節足動物	0	77	0	0	0	77	(77)	
							1. 害虫動物	77	
							2. 殺虫効力試験	0	
							3. 生態習性試験	0	
							4. その他	0	
真菌・その他	0	0	0	0	0	0	0		
食中毒	病原微生物検査	細菌	0	346	0	0	346	(7070)	
								1. 食中毒病原菌14菌種	7,056
								2. 腸管出血大腸菌O157	6
							3. その他の細菌	8	
	ウイルス(SRSV)(A型肝炎)	0	320	0	0	0	320	(238)	
								1. SRSV電子顕微鏡	0
								2. NV遺伝子増幅	238
						3. その他の細菌	0		
核酸検査	0	4	0	0	0	4	4		
理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0		
臨床検査	血液検査(血液一般検査)	0	0	0	0	0	0	0	
	血液等検査	エイズ(HIV)検査	0	0	0	0	0	(0)	
								1. PA法	0
								2. 確認試験(W,B)	0
		HBs抗原、抗体検査	0	0	0	0	0	(0)	
								1. HBs抗原	0
								2. HBs抗体	0
						3. HBe抗原	0		
						4. HBe抗体	0		
						5. IgMHBc抗体	0		
						6. その他	0		
その他	0	273	0	0	0	273	(273)		
							1. HCV抗体	0	
							2. QFT	273	
						3. その他	0		
生化学検査	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		
尿検査	尿一般	0	0	0	0	0	0		
	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0		

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)							
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)											
食品等検査	微生物学的検査	0	1,463	0	0	0	1,463		(9,757)							
	食品細菌	0	1,046	0	0	0	1,046		(5,375)							
								1. 生菌数	1,023							
								2. 大腸菌数	853							
	食中毒細菌(食品・ふき取り等)	0	213	0	0	0	213		(4,217)							
								1. 食中毒病原菌14菌種	4,200							
								2. 腸管出血大腸菌O157	9							
	食中毒ウイルス(食品等)	0	204	0	0	0	204		(165)							
								1. 電子顕微鏡	0							
								2. 遺伝子増幅	165							
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)	0	169	0	0	351	520		(35,195)							
								食品添加物	0	102	0	0	167	269		(559)
															1. 食品添加物	525
	2. 遺伝子組換え食品	16														
	残留農薬	0	67	0	0	184	251		(34,636)							
1. 残留農薬								34,030								
2. 動物用医薬品								606								
3. 金属類								0								
動物を用いる試験	0	4	5	0	1	10		0								
その他	0	28	14	9	87	138		(475)								
							0	16	14	9	74	113	1. 金属類	49		
													2. 炭水水素等	0		
													3. その他	426		
0	11	0	0	7	18											
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出	0	358	0	0	37	395		(676)							
		0	302	0	0	37	339	1. 赤痢菌	18							
								2. サルモネラ(腸・バラ含む)	24							
								3. 病原大腸菌	68							
								4. 腸炎ビブリオ	16							
								5. コレラ菌	16							
								6. 病原ブドウ球菌	0							
								7. カンピロバクター・ジェジュ/コリー	36							
								8. 腸管出血大腸菌O157	287							
								9. その他の腸管病原菌	112							
								10. レンサ球菌	31							
	11. その他の細菌	68														
核酸検査	0	42	0	0	0	42		0								
抗体検査	0	0	0	0	0	0		0								
化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0								

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)		
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)						
医薬品・家庭用品等検査	医薬品	0	0	0	0	0	0		0		
	医薬部外品	0	0	0	0	0	0		0		
	化粧品	0	0	0	0	0	0		0		
	医療用具	0	0	0	0	0	0		0		
	毒劇物	0	0	0	0	0	0		0		
	家庭用品	0	98	0	0	17	115		(332)		
								1. ホルムアルデヒド	88		
								2. 有機水銀化合物	8		
								3. トルフェニル銀化合物	8		
								4. トリブチル錫化合物	8		
							5. 酸/アルカリ定量	2			
							6. 容器試験	8			
							7. テトクロロエチレン	3			
							8. トリクロロエチレン	3			
							9. メタノール	3			
							10. 蛍光	0			
							11. その他	201			
	その他	0	23	0	0	0	23	1. 健康食品等	0		
栄養関係検査		0	0	0	0	0	0	1. 成分検査	0		
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
	飲用水	細菌学的検査		0	92	0	0	0	92		(184)
										1. 一般細菌数	92
										2. 大腸菌等	92
									3. その他	0	
		理化学的検査		0	92	0	0	4	96		(1,026)
										1. 井戸水	830
										2. 貯槽水	30
									3. 船舶水	0	
								4. 簡易水道水	0		
								5. 専用水道水	80		
								6. 水道直結栓水	0		
							7. その他	86			
(利用水等を含む)	細菌学的検査		0	243	0	0	243		(729)		
									1. 一般細菌数	243	
									2. 大腸菌群	243	
								3. その他	243		
	理化学的検査	0	237	0	0	0	237		(473)		
								1. プール水	166		
								2. その他	307		

			依頼によるもの				依頼によ らないも の(5)	検査件数 合計	検査項目又は検体名	延検査 項目数 (小計)	
			住民(1)	保健所(2)	保健所以 外の行政 機関(3)	その他 (医療機 関、学 校、事務 所)(4)					
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
	産業廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0	0	1. 汚泥	0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0		0	
環境・公害関係	大気汚染	SO ₂ ・NO ₂ ・O _x 等	0	0	0	0	0	0		0	
		浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0	0		0	
		降下煤塵	0	0	0	0	0	0		0	
		有害化学物質・重金属	0	0	0	0	0	0		0	
		酸性雨	0	0	0	0	0	0		0	
		その他	0	0	0	0	0	0		0	
	水道検査	公共用水		0	0	0	0	0		(0)	
			1. 河海水底質							0	
			2. その他							0	
		工場・事業場排水		0	0	0	0	0	0		(0)
			1. 工場・事業場排水							0	
			2. その他							0	
	浄化槽放流水	0	0	0	0	0	0		0		
	その他	0	0	0	0	0	0		(0)		
									1. 一般細菌数	0	
									2. 大腸菌群	0	
									3. その他	0	
		騒音・振動	0	0	0	0	0	0		0	
		土壌・低質検査	0	0	0	0	0	0		0	
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0	0		0	
その他		0	0	0	0	0	0		0		
	一般室内環境	0	0	0	0	0	0	1. 落下細菌	0		
	その他	0	0	0	0	0	0		0		
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)		0	0	8	0	0	8		(16)	
		1. セシウム134							8		
		2. セシウム137							8		
		3. ヨウ素131							0		
	食品		0	3	0	0	0	3		(6)	
		1. セシウム134							3		
		2. セシウム137							3		
		3. ヨウ素131							0		
	その他		0	0	0	0	0	0		(0)	
1. セシウム134								0			
2. セシウム137								0			
	3. ヨウ素131							0			
	温泉(鉱泉)泉質検査	0	0	0	0	0	0		0		
	その他	0	14	0	0	0	14		0		
	計	0	5,686	27	9	497	6,219		58,364		

3 食品別検査項目内訳

(1) 食品別検査項目内訳 (理化学検査)

区分		項目		総 検 体 数	総 項 目 数	魚介類	着色料	保存料	発色剤	漂白剤	甘味料	強化剤	殺菌料	酸化防止剤	品質保持剤	防かび剤	酸味料	その他の添加物	不許可添加物	水分活性	品質検査	シアン化合物	マイコトキシン	魚介毒	塩分濃度	酸価過酸化物価	動物用医薬品	規格試験	食品成分	P C B	残留農薬	放射能	重金属	遺伝子組換え食品検査	特定原材料検査	その他				
魚介類				13	51																		17								33	1								
魚介類	ねり製品																																							
加工品	その他			13	124			4		2											4					114														
食肉及び	食肉			19	300																						228													
その加工品	食肉製品			9	26	5	10	9												2																				
卵及びその加工品				4	68																					68														
穀類及びその加工品				27	83			6		3					13																									
野菜果実類及び	漬物			9	28	3	3	3		3	3									4	6																			
その加工品	野菜果実・その他			53	1,705	1	3	4		4						30			7																					
豆類及びその加工品				4	56	1	2	1		1									1			1																		
乳及び	乳類																																							
その加工品	乳製品			4	4			3																																
調味料				8	42	3	29			2	5									1	1	1																		
菓子類				18	51	3	12			6	6								13																					
清涼飲料水				10	44	4	6			2	8								3									21												
酒精飲料				3	15	2	3			3	2								5																					
油脂類																																								
びん詰・缶詰食品				7	30	2	5			3									11																					
健康食品				0	0																																			
その他の食品				3	5					1									2		1																			
食品添加物				0	0																																			
器具及び容器包装				1	2																							2												
おもちゃ																																								
その他																																								
合計				205	2,634	24	86	9	30	24	0	0	0	6	13	30	0	0	48	3	12	1	0	17	6	0	410	23	0	1,821	6	34	21	10			0			

(2)食品別検査項目内訳(食品細菌検査)

区分	項目	検体数	検査項目総数																									
			一般細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌(チフス菌等を含む)	E. coli	E. coli 最少数(MPN)	大腸菌	腸管出血性大腸菌(6血清※1)	セレウス菌	ウェルシュ菌	カンピロバクター属菌	腸炎ビフリオ	腸炎ビフリオ最少数(MPN)	NAGビフリオ(※2)	その他ビフリオ科(※3)	コシラ菌	エルシニア	赤痢菌	リステリア菌	ボツリヌス菌	クロストリジウム属菌	病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌を除く)	腸球菌	真菌類(カビ・酵母)	その他試験(※4)	検査項目総数
生食用及びその加工品	生食用かき	10	0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50
	生食用鮮魚介類	20	12	18	8	2	0	17	0	1	0	0	0	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121
	魚介類等(その他)	7	3	3	4	5	0	2	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
	ゆでたこ・ゆでかに	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	魚肉ねり製品	2	2	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	魚介類加工品	2	0	0	2	2	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	冷凍食品	8	6	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
	食肉及びその加工品	4	0	0	1	0	0	0	18	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	食肉製品・鮮肉製品	9	6	9	9	5	4	1	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	79
	食肉加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
卵及びその加工品	卵及びその加工品	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	乳及びその加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳製品	5	2	2	4	2	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
	乳類加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	練乳・豆乳及びその加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	穀類・米・もち・豆類	18	15	18	8	18	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111
	めん類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	穀類加工品(その他)	26	26	23	22	26	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175
	包装豆腐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豆腐(その他)	2	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
野菜・果物及びその加工品	野菜・果物及びその加工品	12	5	11	2	11	0	4	30	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84
	漬物	69	69	63	63	69	0	4	0	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	435	
	菓子類	3	3	3	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	
	清涼飲料水・粉末清涼飲料水	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	
	氷菓・米菓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調味料(みそ・しょうゆ等)	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	レトルト	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	その他食品	2	2	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	店内スライス・小分け食品	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	その他加工食品(加熱食品)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そうざい類	その他加工食品(非加熱食品)	11	11	11	10	11	0	2	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
	そうざい類	297	299	297	255	100	0	3	96	79	96	42	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	
	非加熱そうざい	213	212	179	212	171	209	0	33	54	110	5	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1410	
	加熱そうざい	14	14	12	12	9	4	0	0	0	13	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	
	加熱そうざいのみの弁当類(調理ハンパ類)	5	6	6	5	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	
	非加熱そうざいの弁当類(調理ハンパ類)	94	92	83	70	93	0	6	18	70	11	1	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	645	
	器具拭取	129	132	77	132	24	4	0	120	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	619	
	ふきとり	58	57	50	57	16	1	0	55	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	295	
	器具拭取	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	その他拭取	1046	1023	853	991	709	573	14	248	282	389	121	64	25	6	6	0	0	0	0	6	0	3	0	2	0	6421	
検体数																												

※1: 腸管出血性大腸菌(O157、O26、O111、O103、O121、O145)をい、各々1件として計上
 ※2: その他ビフリオ科には、V.mimicus、V.fluvialis、A.hydrophila、A.sobria、P.shigelloidesを実施した場合に計上
 ※3: その他試験欄には、恒温試験・細菌試験・保存試験・乳糖試験を実施した場合に計上

4 水質別検査項目内訳

区分	項目	総 検 体 数	総 項 目 数	外 観・ 濃 度・ 色 度・ 臭・ 味	pH	窒 素 化 合 物	有 機 物	硬 度	陽 イ オ ン 類	陰 イ オ ン 類	蒸 発 残 留 物	残 留 塩 素	溶 存 酸 素	C O D	B O D	浮 遊 物 質	陰 イ オ ン 界 面 活 性 剤	n-ヘキサノ可溶性物質	その 他 の 理 化 学 試 験	一 般 細 菌 数	大 腸 菌 又 は 大 腸 菌 群	その 他 の 細 菌 学 的 試 験	放 射 能			
飲料水検査	水道水	浄水	9	18															9	9						
		貯水槽水(細)																								
	井戸水	その他(ウォータークーラー)	9	192	27	9	18	9	9	75	9									36						
		貯水槽水(理)																								
		水道原水	4	8																				8		
		水道配水	4	8																				8		
		井戸水(細)	83	166																		83	83			
		その他(ミネラルウォーター)																								
		井戸水(理)	83	830	249	83	166	83	83	83	83	83														
		その他(ミネラルウォーター)																								
利用水関係検査	中水道水(細)																									
	その他																									
下水関係検査	中水道水(理)																									
	その他																									
	生物学的検査																									
	下水(細)																									
	その他																									
	下水(理)																									
清掃関係検査	生物学的検査																									
	し尿																									
	浄化放流水(細)																									
	浄化槽水																									
	浄化放流水(理)																									
	浄化槽水																									
公害・一般環境検査	生物学的検査																									
	その他																									
	河川																									
	汚濁																									
	河川水底質																									
	産業排水																									
温泉(鉱泉)	その他(湧水発生土)																									
	浴槽水	349	848	152			154													1	159	159	223			
	プール水・採暖槽水	185	385	83																83	84	84	51			
	その他(ウレタン剤)																									
	その他(海水)																									
その他(シャワー水等)	7	15																								
合計	733	2,470	511	92	184	246	92	158	92	92									120	335	335	289	16			